

2 運転するときに

安全なドライブのため に 102

運転するとき.....	102
運転装置について.....	104
こんなことにも注意.....	104
駐停車するとき.....	107
お子さまを乗せるとき.....	108

エンジンの始動と停止 109

電源ポジション（エンジンスイッ チ）.....	109
エンジンの始動.....	110
エンジンの停止.....	113
アイドリングストップシステムについ て（PE-VPS 型エンジン）.....	115

メーター、警告灯、表示灯の 見方 123

メーター.....	123
インフォメーションセンターディス プレイ.....	127
警告灯、表示灯.....	131

トランスミッションの使いか た 140

オートマチックトランス ミッション.....	140
---------------------------	-----

ブレーキ 154

ブレーキの操作.....	154
--------------	-----

4WD 155

4WD について.....	155
---------------	-----

スイッチの使いかた 156

ヘッドランプスイッチ.....	156
方向指示器.....	159
非常点滅灯スイッチ.....	160
フォグランプスイッチ.....	160
ワイパー / ウォッシャースイッチ... ..	160
リヤウインドーデフォグガー（曇り取 り）スイッチ.....	164
ホーン.....	165

ABS について 166

ABS とは.....	166
-------------	-----

ヒルローンチアシスト （HLA）について 167

ヒルローンチアシスト（HLA）とは （アイドリングストップシステム装 備車）.....	167
---	-----

トラクションコントロールシ ステム（TCS）につい て 168

TCS とは.....	168
-------------	-----

ビークルダイナミクスコント ロール（VDC）につい て 169

VDC とは（PE-VPS 型エンジン）..	169
------------------------	-----

ASCD（オートスピードコン トロール装置）につい て 172

ASCD とは.....	172
--------------	-----

2 運転するときに

様々な状況での運転のときは 176

悪天候での運転..... 176

環境保護のために 178

経済的な運転..... 178

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

2. 運転するときに 安全なドライブのために

運転するとき

走行中はエンジンを止めない

走行中にエンジンを止めると、ブレーキの効きが悪くなり、ハンドルも重くなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

坂道ではエンジンブレーキを使う

ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱し、効きが悪くなる場合があります。下り坂ではフットブレーキとエンジンブレーキを併用してください。高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路では急激なエンジンブレーキの使用（シフトダウン）は避けてください。スリップするおそれがあります。エンジンブレーキとは、走行中アクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ力で、低速ギヤほどよく効きます。

走行中はセレクトレバーを N にいれない

トランスミッションの故障につながります。また、エンジンブレーキが全く効かないため思わぬ事故につながるおそれがあります。

すべりやすい路面では慎重に運転する

ぬれた路面や凍結路、積雪路などのすべりやすい路面では、急加速や急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキを避け、スピードをひかえめにして運転してください。ぬれた路面を高速で走行すると、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態（ハイドロプレーニング現象）になるおそれがあります。高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路を走行しているときは、急激なエンジンブレーキの使用（シフトダウン）は避けてください。タイヤがスリップし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

冠水した道路を走行しない

冠水した道路を走行しないでください。冠水した道路を走行すると、エンストをするだけでなく、電気部品や電子部品のショート、水を吸い込んだエンジン破損など、車両に悪影響を及ぼします。万一、水中に浸ってしまったときは、必ず日産販売会社へご相談ください。

水たまり走行後や洗車後はブレーキの効きを確認する

水たまりを走行したあとや洗車後は、ブレーキパッドがぬれているため、ブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方のブレーキだけが効いて、ハンドルをとられるおそれがあります。ブレーキの効きが悪いときは、低速で走りながら、効きが回復するまでアクセルペダルを放してブレーキペダルを軽く数回踏んでブレーキを乾かしてください。

横風が強いときは慎重に運転する

横風が強く、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、スピードを徐々に落としてください。トンネルの出口、橋の上、山を削った切り通しなどは特に横風が発生しやすいので注意してください。走行安定性を失い、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転
前に
する

ブレーキペダルに足をのせたまま走行しない

ブレーキペダルに足をのせたまま走行しないでください。

- ブレーキの部品が早く摩耗します。
- ブレーキが過熱し、効きが悪くなるおそれがあります。

運転
する
とき

ブレーキ操作は右足で

- ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。慣れない左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるなど、適切な操作ができないおそれがあります。
- アクセルペダルの操作でブレーキペダルに靴が接触することがないように、運転に適した靴で運転してください。

快適
装備
の
使
い
か
た

警告灯が点灯 / 点滅したら車を止める

走行中に警告灯が点灯 / 点滅したときは、ただちに安全な場所に停車し、適切な処置を行ってください。警告灯の点灯 / 点滅を無視して運転を続けるとエンジンなどを損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

お
手
入
れ
の
し
か
た

パンクやバースト（破裂）してもあわてない

走行中タイヤがパンクやバースト（破裂）したときは、ハンドルをしっかり持ち、徐々にブレーキをかけスピードを落としてください。

急ブレーキをかけるとハンドルをとられるおそれがあります。

次のようなときはパンクやバースト（破裂）が考えられます。

- ハンドルがとられるとき。
- 異常な振動があるとき。
- 車両が異常に傾いたとき。

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

スタックした状態から脱出するときは注意する

259 ページの「スタックしたとき」をよくお読みください。

車
両
ス
ペ
ック

床下に衝撃を受けたら下まわりを点検する

安全な場所に停車して、車の下にブレーキ液や燃料の漏れがないか、また各部に損傷がないか確認してください。

異常があったときは、日産販売会社に連絡してください。

そのまま走行すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

さ
く
い
ん

安全なドライブのために

異常を感じたときは日産販売会社で点検を受ける

次のようなときは、車が故障しているおそれがあります。そのまま走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。日産販売会社で点検を受けてください。

- 普段と違う音や臭い、振動がするとき。
- ハンドル操作に異常を感じる時。
- ブレーキ液が不足しているとき。
- 車の下に油のあとが残っているとき。

運転装置について

オートマチック車を運転するとき

150 ページの「オートマチック車を運転するときに」、140 ページの「オートマチック車の特性」、110 ページの「エンジンをかける前に」をよくお読みください。

4WD 車の特性

155 ページの「4WD について」、155 ページの「走行するときは」をよくお読みください。

タイヤについて

221 ページの「タイヤの点検」、212 ページの「タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときは日産販売会社に相談する」、254 ページの「タイヤチェーンの取り付け」をよくお読みください。

けん引してもらうとき

284 ページの「けん引してもらうとき」をよくお読みください。

こんなことにも注意

発進時には安全を十分確認する

発進時は周囲の状況に十分注意してください。

- 信号待ちなどで停車したときや、駐車後に発進するときは、周囲の安全を十分確認してから発進してください。
- 後退するときに十分な視界を得られないときは、車から降りて後方の安全を確認してください。

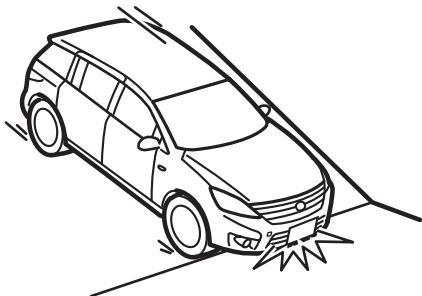
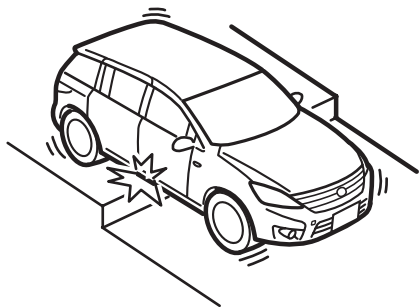
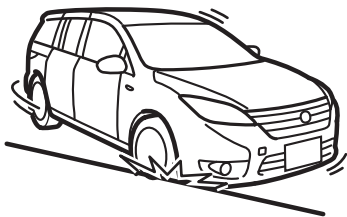
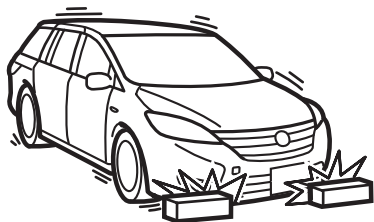
運転中は携帯電話を使用しない

運転しながらハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

路面などと車両との干渉に注意する

次のようなとき、バンパーやマフラーなど車体の下部を損傷するおそれがありますので、十分注意してください。

- 車止めのある場所への駐車
- 路肩に沿っての駐車
- 路肩など段差のある場所への乗り降り
- 駐車場など急な坂道への出入り
- 凸凹やわだちのある道路の走行



運転
する
前
に

運転
する
時
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

2. 運転するときに 安全なドライブのために

違法改造はしない

212 ページの「違法改造はしない」をよくお読みください。

タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときは日産販売会社に相談する

212 ページの「タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときは日産販売会社に相談する」、221 ページの「タイヤの点検」をよくお読みください。

タイヤバルブキャップは純正品を使用する

221 ページの「タイヤの点検」をよくお読みください。

キセノンヘッドランプバルブを交換するときは日産販売会社に相談する

159 ページの「キセノンヘッドランプについて」をよくお読みください。

部品の取り付け、交換は日産販売会社に相談する

212 ページの「部品の取り付け、交換は日産販売会社に相談する」をよくお読みください。

ナンバープレートは正しい位置に取り付ける

212 ページの「ナンバープレートは正しい位置に取り付ける」をよくお読みください。

アクセサリーを取り付けない

212 ページの「アクセサリーを取り付けない」をよくお読みください。

エンジンルーム内のファンやベルトに気をつける

281 ページの「オーバーヒートについて」をよくお読みください。

エンジンルーム内に物を置き忘れない

213 ページの「点検整備について」をよくお読みください。

ラジエーターが熱いときはキャップをはずさない

281 ページの「オーバーヒートについて」をよくお読みください。

バッテリーの取り扱いに気をつける

275 ページの「バッテリーあがりについて」をよくお読みください。

航空機内ではキーを操作しない

16 ページの「キー」をよくお読みください。

一酸化炭素中毒に気をつける

自動車から出る排気ガスには、一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素は、無色 / 無臭の有毒な気体です。体内に入ると、一酸化炭素中毒を起こします。一酸化炭素中毒の初期症状は、目まい / 吐き気 / 頭痛などの体調不良ですが、症状が進むと意識不明になって動けなくなります。また、症状によっては死に至ることがあります。万一、排気管などに腐食や損傷があったり、排気音に異常を感じたときは、日産販売会社で点検を受けてください。また、車内で排気ガスの臭いがしたときは、すべての窓を全開にするか、空調を手動で外気導入にして新鮮な外気を取り入れてください。そのまま走行すると、排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

運転する
前に

運転する
ときに

ライターやメガネを車内に放置しない

炎天下に駐車するときは、車内にメガネやライターを放置しないでください。車内が高温になるため、ライターが爆発したり、プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが変形・ひび割れを起こすことがあります。

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

駐停車するとき

燃えやすい物のそばに車を止めない

車を止める時には、次の点を守ってください。

- そばに枯れ草など、燃えやすいものがない場所に止めてください。走行したあとは排気管が高温になっているため、火災につながるおそれがあります。
- 壁やベニヤ板などが後方にある場合は、間隔を十分とってから停車してください。排気ガスにより変色、変形したり、そのまま放置しておくと火災につながるおそれがあります。

仮眠するときはエンジンを止める

エンジンをかけたまま仮眠しないでください。無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込み車が発進したり、エンジンや排気管の異常過熱による火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。また、排気管が損傷していたり、換気の悪い場所では、知らない間に排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

長時間停車するときは空調を外気導入にする

エンジンをかけたまま長時間停車するときは、空調を手動で外気導入にしてください。空調を内気循環にすると、車内の圧力が下がり排気ガスが入り易くなるため、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

安全なドライブのために

換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしない

換気の悪い場所ではエンジンをかけたままにしないでください。ガレージの中や積雪した場所、その他周囲が囲まれた換気の悪い場所では、排気ガスが行き場を失い車内へはいりやすくなるため、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

坂道駐車はパーキングブレーキをしっかりかける

坂道での駐車は、パーキングブレーキをしっかりかけ、セレクトレバーをPにしてください。

急な坂道ではさらに輪止めをしてください。輪止めをしないと車が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

車の移動はエンジンをかける

車を少し移動させるときでも、必ずエンジンをかけてください。下り坂などで傾斜を利用して移動させると、ハンドルがロックされたり、ブレーキの効きが悪いため思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けない

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けると、パワーステアリング装置を損傷するおそれがあります。

車から離れるときは必ずパーキングブレーキをかけ、施錠する

車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけエンジンを止め、ドアを施錠してください。また、盗難にあわないために、車内には貴重品を置かないでください。

お子さまを乗せるとき

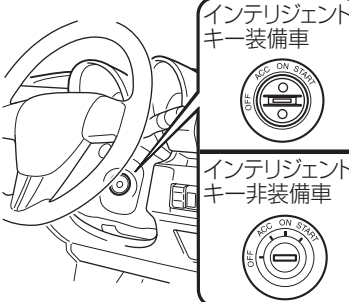
車から離れるときはお子さまも一緒につれていく

車から離れるときはお子さまだけを車内に残さないでください。

- お子さまのいたずらにより、装置の作動、車の発進、火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 炎天下の車内はたいへん高温になり、お子さまが脱水症状を起こすおそれがあります。症状がひどくなると脳に障害が残ったり、最悪の場合死に至るなどお子さまの命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

電源ポジション（エンジンスイッチ）

各位置の働き

	電源ポジション（エンジンスイッチ）	働き
	OFF	電源 OFF の状態
	ACC	エンジン停止時に、オーディオなどが使用できる位置
	ON	エンジン回転中の位置
	START	エンジンを始動する位置

知識

- 電源ポジションを ON にしたとき、燃料タンク付近からフューエルポンプのモーター作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。
- **エンジンを止めたままのときは**
オーディオなどを長時間使用したり、電源ポジションを ON または ACC のまま放置しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- **ハンドルがロックされているときは**
キーまたは補助キー（エンジンスイッチ）をまわしにくいことがあります。ハンドルを左右に動かしながらキーまたは補助キー（エンジンスイッチ）をまわしてください。
- セレクトレバーの位置が P 以外のときは、スタートノブをまわして、電源ポジションを ACC から OFF にすることができません。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
が
た
い

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペク

さく
いん

2. 運転するときに エンジンの始動と停止

エンジンの始動

エンジンをかける前に

1. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
2. セレクトレバーがPの位置にあることを確認します。
3. 正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。ペダルの踏み間違いのないように、ペダルの位置を確認しておいてください。

→ 40 ページ「正しい運転姿勢」

エンジンをかけるとき（インテリジェントキー装備車）

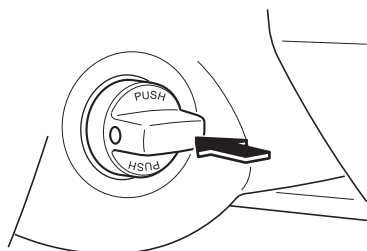
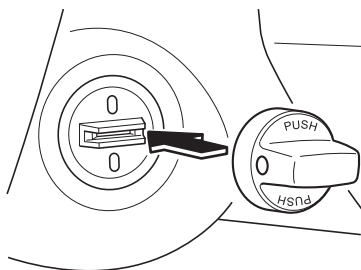
知識

● インテリジェントキーの携帯について

インテリジェントキーは必ず運転者が携帯してください。

● スタートノブがエンジンスイッチから取りはずされているときは

必ず取り付けてください。取り付け後はスタートノブがはずれないことを確認してください。



1. インテリジェントキーを携帯していることを確認します。
2. ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
3. スタートノブをゆっくりと奥まで押し込みます。

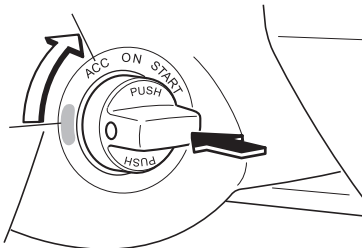
4. メーター内の KEY 表示灯（緑）が点灯するのを確認します。



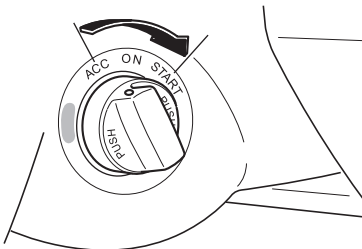
知識

次のようなときはメーター内の KEY 警告灯（赤）が点滅し、エンジンをかけることができません。

- インテリジェントキーの電池切れ
- インテリジェントキーが作動範囲内がない
- インテリジェントキーを車内でも感知しにくい場所に置いているとき
→ 19 ページ「インテリジェントキー機能を使つての操作」
- インテリジェントキーに類似した他社のキーが作動範囲内にある



5. スタートノブを押し込みながら、電源ポジションを ACC にします。



6. アクセルペダルを踏まずに、電源ポジションを ACC から START にし、エンジンをかけます。

注意



禁止

連続して 10 秒以上スタートノブをまわして、電源ポジションを START にしないでください。スターターの故障やバッテリーあがりの原因になります。エンジンがかからないときは、スタートノブをまわして、電源ポジションを OFF にもどし、10 秒以上待ってからエンジンをかけなおしてください。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備の
使用

お手
入れの

トラ
ブルが
起き

車両
仕様

さく
いん

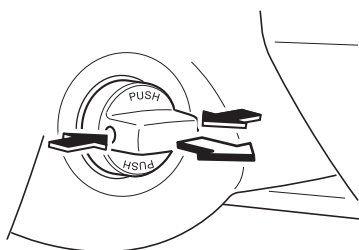
2. 運転するときに エンジンの始動と停止

知識

冷間始動後は

- エンジン制御システムの働きによりエンジン回転数が高くなりますが、自動的に適正な回転数に下がります。
- **(PE-VPS 型エンジン)**
排気ガスの浄化を促進するためにエンジン回転が高くなり、うなっている音が聞こえることがありますが、部品機能の異常ではありません。

補助キーを使つての操作



キー（補助キー）を使ってエンジンをかけるときは、次の操作を行なってください。

1. 補助キーをインテリジェントキーから取りはずします。
→ 16 ページ「インテリジェントキー」
2. スタートノブをエンジンスイッチから取りはずします。
スタートノブは左右両側のボタンを押したまま手前に引くと、取りはずすことができます。
3. 補助キーをエンジンスイッチに差し込みます。
4. エンジンスイッチをまわして、電源ポジションを ACC から OFF、または OFF から ACC にするときは、補助キーを押し込んでまわしてください。

知識

冷間始動後は

- エンジン制御システムの働きによりエンジン回転数が高くなりますが、自動的に適正な回転数に下がります。
- **(PE-VPS 型エンジン)**
排気ガスの浄化を促進するためにエンジン回転が高くなり、うなっている音が聞こえることがありますが、部品機能の異常ではありません。

エンジンをかけるとき（リモートコントロールエントリーシステム装備車）

1. ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
2. アクセルペダルを踏まずに、電源ポジションを START にし、エンジンをかけます。

注意



連続して 10 秒以上、電源ポジションを START にしないでください。スターターの故障やバッテリーあがりの原因になります。エンジンがかからないときは、電源ポジションを OFF にもどし、10 秒以上待ってからエンジンをかけなおしてください。

知識

冷間始動後は

- エンジン制御システムの働きによりエンジン回転数が高くなりますが、自動的に適正な回転数に下がります。
- **(PE-VPS 型エンジン)**
排気ガスの浄化を促進するためにエンジン回転が高くなり、うなっている音が聞こえることがありますが、部品機能の異常ではありません。

エンジンの停止

1. セレクトレバーを P の位置にします。
2. 電源ポジションを ON から ACC にします。

知識

● **バッテリーあがりについて**

スタートノブをまわして、電源ポジションを ON から ACC にするとエンジンは停止しますが、バッテリーあがりの原因になりますので、ACC で放置しないでください。

● **電源ポジションを OFF にせずに車から離れると**

警報やメーター表示でお知らせします。

→ 288 ページ「チャイムがなったときは」

→ 294 ページ「KEY 警告灯が赤色で点灯または点滅した」

運転
前に
する

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ッ
ク

さ
く
い
ん

2. 運転するときに エンジンの始動と停止

知識

● **インテリジェントキー装備車は**

電源ポジションを ON から ACC または OFF にしたとき、インテリジェントキーの電池容量が少なくなっていることを感知したら、メーター内の KEY 表示灯（緑）が約 30 秒間点滅します。新しい電池と交換してください。
→ 242 ページ「インテリジェントキー」

● **電源ポジションについて**

セレクトレバーの位置が P 以外のときは、スタートノブを回して電源ポジションを ACC から OFF にすることができません。

3. インテリジェントキー装備車は電源ポジションが ACC でスタートノブを押し込み、電源ポジションを OFF にします。

インテリジェントキー非装備車は、そのまま電源ポジションを OFF にします。

注意



必ず見る

車から離れるときは、電源ポジションが OFF になっていることを確認してください。

電源ポジションを OFF までもどさなかった場合、インテリジェントキーが車内になくても再度エンジンをかけることができるため、車両を盗難されるおそれがあります。

知識

● **電源ポジションを OFF にするときは**

スタートノブを ACC で押し込んでまわす必要があります。押し込まずにまわすと、スタートノブは ACC で止まるため、そのまま放置するとバッテリーがあがるおそれがあります。車から離れるときは、電源ポジションが OFF になっていることを確認してください。電源ポジションを OFF にせずに車から離れると、警報やメーター表示でお知らせします。

→ 288 ページ「警報チャイム」

- エンジンルームを早期に冷却するため、電源ポジションを ON から OFF にしたとき、エアコンの ON/OFF にかかわらず電動ファンが数分間回転することがあります。

アイドリングストップシステムについて (PE-VPS 型エンジン)

アイドリングストップシステムは燃費向上・排気ガスの低減・アイドリング騒音低下のため、エンジン暖機後に信号待ちや渋滞などで車両を停止させたととき、自動でエンジンを停止・再始動させる機能です。

アイドリングストップ・再始動

1. 走行中にアイドリングストップする条件を満たすと、アイドリングストップ表示灯（緑）が点灯します。
2. 走行状態（R レンジ以外）からブレーキペダルを踏んで停車すると、アイドリングストップします。（アイドリングストップ表示灯（緑）はアイドリングストップ中も点灯します。）
3. D/M（2 速固定モードでない）レンジでブレーキペダルから足を放すと、自動でエンジンが再始動し、アイドリングストップ表示灯（緑）が消灯します。再び走行中にアイドリングストップする条件を満たすと、アイドリングストップ表示灯（緑）が点灯します。

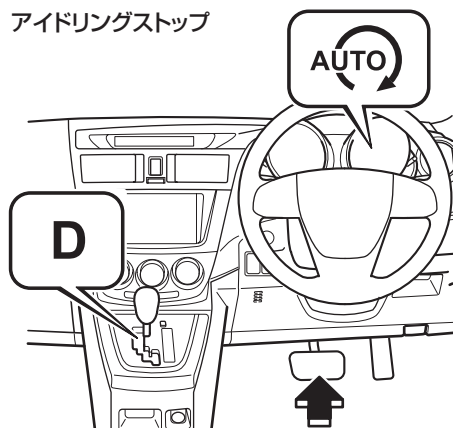
セレクトレバーがN/Pレンジでは、ブレーキペダルから足を放しても再始動しません。もう一度ブレーキペダルを踏むと再始動します。

⚠ 注意

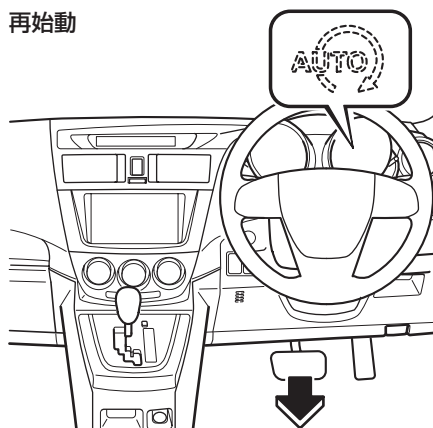
次の条件のときは走行中、アイドリングストップ表示灯（緑）が点灯しても停車時に消灯し、アイドリングストップしません。

- 停車時のハンドルが直進状態でないとき
- 急な坂道に停車したとき

アイドリングストップ



再始動



運転
前に
する

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ク

さ
く
い
ん

エンジンの始動と停止

知識

- アイドリングストップシステムは、安全かつ快適にご使用いただくためにドライバーの操作以外に、車内外の環境、車両の状態などの状況を常にモニターし、アイドリングストップ・再始動を制御しています。
- 次の条件をすべて満たしているときにアイドリングストップします。
 - エンジンを始動したのち、一度走行したあと（走行せずにアイドリングを続けても、アイドリングストップシステムは作動しません。また、停車中に自動でアイドリングストップ・再始動を繰り返すこともありません。）
 - ボンネットを開けてエンジンを始動したとき
 - エンジン、オートマチックトランスミッションフルードが十分に暖まっているとき
 - 車両が停車しているとき
 - バッテリーの状態が良好のとき
 - 全てのドア、バックドア、ボンネットが閉まっているとき
 - 運転席シートベルトを着用しているとき
 - 曇り取りスイッチが OFF のとき
 - エアコンの温度設定ダイヤルが、最大暖房 / 最大冷房以外の位置となっているとき
 - 車内の温度とエアコンの設定温度がほぼ一致しているとき
 - 標高約 1500m 以下で使用しているとき
 - アイドリングストップ警告灯（橙）が点灯 / 点滅していないとき
 - インテリジェントキーエントリー&スタートシステムが正常なとき
 - セレクトレバーが D/M（2 速固定モードでない）または N レンジのとき
 - オートマチックトランスミッションフルードの温度が異常に高くないとき
 - ブレーキ負圧が十分に高いとき
 - ハンドルがほぼ直進状態のとき（直進状態にしている場合でもハンドルに力を入れていないとアイドリングストップしない場合があります。アイドリングストップさせたいときは、ハンドルから力をゆるめてみてください。）
 - ハンドル操作をしていないとき
 - ブレーキペダルを踏んで停車させたとき（アイドリングストップせずアイドリングストップ表示灯（緑）が点滅しているときは、ブレーキペダルの踏み方が不足している可能性があります。少しブレーキペダルを踏み足してください。）
 - 急制動ではないとき
 - 立体駐車場などの急な坂道で停車していないとき

知識

- 次の条件のときはアイドリングストップするまでに時間がかかることがあります。
 - ・ 車両を長期間使用しなかったときなどでバッテリーが放電したとき
 - ・ 外気温が高いとき、または、低いとき
 - ・ バッテリー交換等によりバッテリー端子をはずしたあと
- アイドリングストップ中に以下の操作を行うとアイドリングストップ警告灯（橙）が点灯し、安全を確保するためにブレーキペダルから足を放しても自動でエンジンが再始動しません。この場合は、通常の操作でエンジンを始動してください。
 - ・ ボンネットを開けたとき
 - ・ D/M（2 速固定モードでない）レンジでドライバーが車両から降りようとしたとき（運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき）
- アイドリングストップ中にセレクトレバーを D/M（2 速固定モードでない）レンジから N レンジ、または D/M（2 速固定モードでない）レンジから P レンジへ操作するとブレーキペダルから足を放しても自動でエンジンが再始動しません。もう一度ブレーキペダルを踏むか、セレクトレバーを D/M（2 速固定モードでない）または R レンジへ操作すると再始動します。また、N または P レンジでドライバーが車両から降りようとしたとき（運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき）にも、エンジンが再始動します。（安全のため、アイドリングストップ中にセレクトレバーを操作する時は、必ずブレーキペダルを踏み込んだ状態で行って下さい。）
- アイドリングストップ中に以下の操作を行うと、ブレーキペダルから足を放さなくてもエンジンが再始動します。
 - ・ アイドリングストップ OFF スイッチをチャイムが鳴るまで押し続けたとき
 - ・ エアコンの温度設定ダイヤルを、最大暖房 / 最大冷房の位置にしたとき
 - ・ 曇り取りスイッチを ON にしたとき
 - ・ インテリジェントキーを車外に持ち出した状態で、いずれかのドアを開けたとき
 - ・ 補助キーで走行している（補助キーでエンジンをかけてアイドリングストップした）状態で、いずれかのドアを開けたとき
 - ・ 坂道でブレーキをゆるめ、車両が動きだしたとき
 - ・ D/M（2 速固定モードでない）レンジでアクセルペダルを踏んだとき
 - ・ セレクトレバーを R レンジにしたとき
 - ・ セレクトレバーを N または P レンジから D/M（2 速固定モードでない）レンジにしたとき
 - ・ セレクトレバーが D/M（2 速固定モードでない）レンジのまま、ハンドル操作をしたとき
 - ・ セレクトレバーが M レンジで、2 速固定モードにしたとき

運転
前に
する

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
フ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ク

さ
く
い
ん

2. 運転するときに エンジンの始動と停止

知識

- アイドリングストップ中に以下の車両状態になると、ブレーキペダルから足を放さなくてもエンジンが再始動します。
 - 車内の温度がエアコンの設定温度から大きく外れたとき
 - アイドリングストップしてから 2 分経過したとき
 - バッテリーの放電が進んだとき
- 次のときはエンジン停止時間が短くなる、または次のアイドリングストップが可能になるまでの時間が長くなる場合があります。
 - 外気温が高いとき、または、低いとき
 - バッテリーの放電が進んだとき
 - 車載装備などの電流消費が多いとき
- 外気温が非常に低い、または高いときには、アイドリングストップしません。
- バッテリー端子をはずした場合は、バッテリー端子接続後すぐにはアイドリングストップしないことがあります。また、バッテリーを交換したときは、アイドリングストップシステムの機能を確認する必要がありますので、日産販売会社にご相談ください。

アイドリングストップ警告灯（橙）/ アイドリングストップ表示灯（緑）



アイドリングストップシステムは、安心かつ快適にご使用いただくために、ドライバーの操作状況や、車内外の環境、車両の状態などの状況を常にモニターし、アイドリングストップ警告灯（橙）/ アイドリングストップ表示灯（緑）によりさまざまな注意をドライバーにお知らせします。

アイドリングストップ警告灯（橙）

点灯するとき

- 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。
- アイドリングストップ OFF スイッチを押してシステムを解除すると点灯します。
- アイドリングストップ中に以下の操作を行うとアイドリングストップ警告灯（橙）が点灯します。この場合は安全を確保するために、ブレーキペダルから足を放しても自動でエンジンが再始動しないため、通常の操作でエンジンを始動してください。
 - ボンネットを開けたとき
 - D/M（2 速固定モードでない）レンジでドライバーが車両から降りようとしたとき（運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき）

知識

ボンネットを開けたときや、ドライバーが車両から降りようとしたとき（運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき）以外で、アイドリングストップ警告灯（橙）が点灯しているときに、アイドリングストップ OFF スイッチを押しつづけても消灯しない場合は日産販売会社で点検を受けてください。

点滅するとき

システムに異常があるときは点滅し続けます。日産販売会社で点検を受けてください。

アイドリングストップ表示灯（緑）

点灯するとき

アイドリングストップ可能なとき、またはアイドリングストップ中に点灯します。エンジンが再始動すると消灯します。

点滅するとき

ブレーキペダルを強く踏まずに停車させると点滅します。ブレーキペダルの踏力が不足している可能性があります。少しブレーキペダルを踏み足してください。

アイドリングストップ警告チャイム

- アイドリングストップ中に運転席ドアを開けるとチャイムが鳴り、アイドリングストップ中であることをお知らせします。運転席ドアを閉めると鳴り止みます。
- アイドリングストップ中に以下の操作を行うとチャイムが鳴り、安全を確保するためにブレーキペダルから足を放しても自動でエンジンが再始動しません。この場合は、通常の操作でエンジンを始動してください。
 - ボンネットを開けたとき
 - D/M（2 速固定モードでない）レンジでドライバーが車両から降りようとしたとき（運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき）

運転
前に
する

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

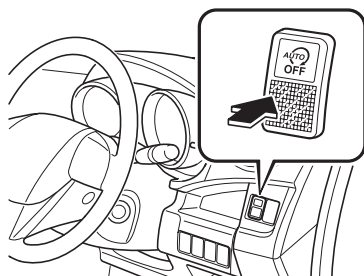
ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

エンジンの始動と停止

アイドリングストップ OFF スイッチ



スイッチをチャイムが鳴るまで押しつづけると、アイドリングストップシステムの作動が解除され、メーター内のアイドリングストップ警告灯（橙）が点灯します。もう一度チャイムが鳴るまで押しつづけるとアイドリングストップシステムが作動可能な状態になり、アイドリングストップ警告灯（橙）が消灯します。

知識

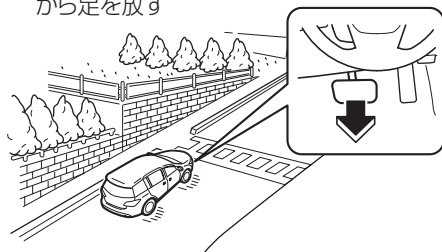
アイドリングストップシステムを解除した状態でエンジンを停止した場合、次にエンジンを始動するとアイドリングストップシステムは作動可能な状態にもどります。

アイドリングストップ発進補助機能について

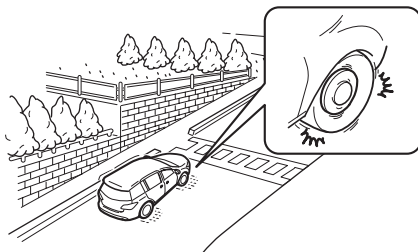
アイドリングストップシステム装備車にはアイドリングストップ発進補助機能が装備されています。これは次のような状態でブレーキペダルから足を放したときに、坂道などで車両が動き出すことを防ぐ機能です。

- アイドリングストップ中（車両の後退防止）
- 再始動時（急なクリープ現象発生による車両の飛び出し防止）
ブレーキペダルを放してエンジンが再始動したときに自動でブレーキ力を保持します。

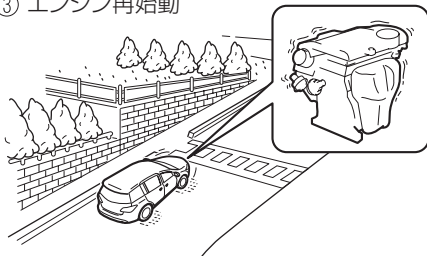
① ブレーキペダルから足を放す



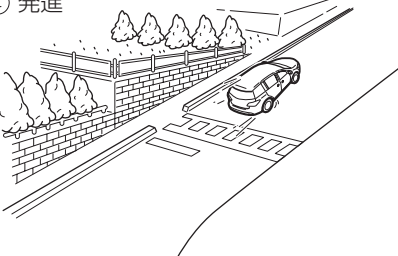
② 車を保持



③ エンジン再始動



④ 発進



⚠ 警告



必ず守る

システムを過信しない

アイドリングストップ発進補助機能はあくまでアイドリングストップ状態から車両を発進させる際に、ブレーキから足を放したあと最長 4 秒間作動する補助装置です。システムを過信して操作すると意図せず車両が動き出し思わぬ事故につながるおそれがあるため非常に危険です。発進時は周囲の安全を確認してセレクトレバーやブレーキペダル、アクセルペダルを適切に操作してください。積載やけん引の状態によって、車両が意図せず動き出す可能性がありますのでご注意ください。

運転する前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

エンジンの始動と停止

警告



発進時はセレクトレバーを N レンジ以外の位置にしてエンジンを再始動させたあとに、ブレーキペダルから足を放す

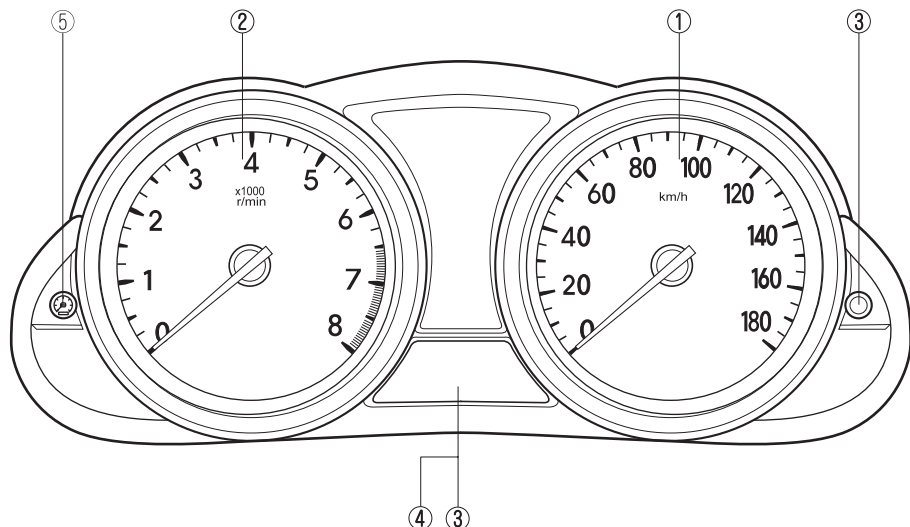
アイドリングストップ中にセレクトレバーを N レンジに操作し、ブレーキペダルから足を放したときは、ブレーキ力が徐々に解除されます。発進時はセレクトレバーを N レンジ以外の位置にしてエンジンを再始動させたあとに、ブレーキペダルから足を放してください。セレクトレバーが N レンジの状態では、アイドリングストップ発進補助機能が解除されたあとに車両が意図せず動き出す可能性がありますのでご注意ください。

知識

- 急な坂道で停車したときは、アイドリングストップしないため坂道ではアイドリングストップ発進補助機能は作動しません。
- アイドリングストップ発進補助機能の作動により、ブレーキペダルの踏み応えが変わったり、ブレーキから音が発生したり、ブレーキペダルが振動したりすることがありますが、異常ではありません。

メーター

メーターはグレードや仕様により異なります。



- | | |
|------------------------------|---------|
| (1) スピードメーター | 123 ページ |
| (2) タコメーター | 124 ページ |
| (3) オドメーター / トリップメーター | 124 ページ |
| (4) 燃料計 | 125 ページ |
| (5) イルミネーションコントロールスイッチ | 126 ページ |

スピードメーター

走行速度を km/h で示します。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペック

さく
いん

2. 運転するときに

メーター、警告灯、表示灯の見方

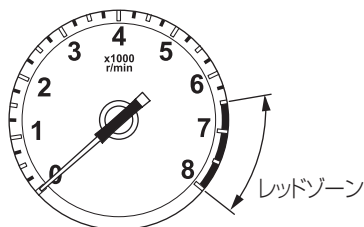
タコメーター

1 分間あたりのエンジン回転数を示します。

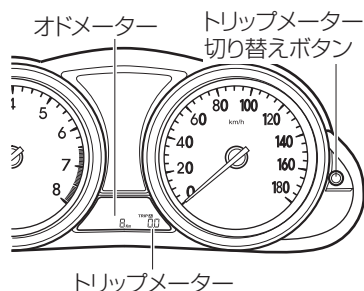
⚠ 注意



指針がレッドゾーン（許容回転数以上を示す）に入らないように運転してください。エンジンの故障につながるおそれがあります。



オドメーター / トリップメーター



オドメーター

走行した総距離を km 単位で示します。

トリップメーター

一定区間の走行距離を km 単位で示します（右側の数字は 100m 単位です）。2 種類（TRIP A、TRIP B）の区間距離を計測することができます。たとえば、TRIP A モードで給油してからの距離を測りながら、TRIP B モードで出発してからの距離を測ることができます。電源ポジションが ON のとき、トリップメーター切り替えボタンを押すごとに、TRIP A、TRIP B が切り替わります。トリップメーターを“0.0”にもどすときは、それぞれのモードのときトリップメーター切り替えボタンを 1 秒以上押します。

知識

- 電源ポジションが ACC または OFF のとき、オドメーター / トリップメーターは表示されませんが、次のようなときは、トリップメーター切り替えボタンが機能します（ボタンを操作するとトリップメーターは切り替え / リセットされます）。
 - 電源ポジションを ON から ACC または OFF にした後の約 10 分間。
 - ドアを閉めた状態から開けた状態にした後の約 10 分間。
- 次のようなときは、トリップメーターの表示が “0.0” にもどります。
 - 車両整備などでバッテリーとの接続が断たれたとき。
 - 走行距離が 999.9km を超えたとき。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

燃料計



電源ポジションが ON のとき、燃料の残量を示します。燃料が少なくなると、燃料残量警告灯が点灯します。早めに燃料を補給してください。→ 131 ページ「警告灯、表示灯」

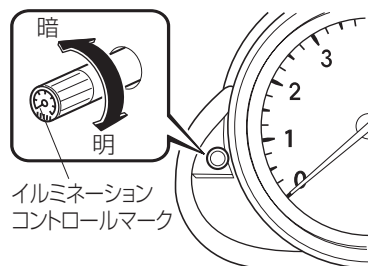
目盛りが “E” に近づいたら、早めに燃料を補給してください。→ 79 ページ「燃料補給口」

知識

- 燃料補給後は、目盛りが安定するまでしばらく時間がかかる場合があります。また、坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、目盛りが増減することがあります。
- 矢印 (📍) は燃料補給口が運転席側にあることを示します。

メーター、警告灯、表示灯の見方

イルミネーションコントロールスイッチ



ヘッドランプまたは車幅灯が点灯しているときイルミネーションコントロールスイッチをまわすと、メーターおよびインストルメントパネルの明るさを調節できます。

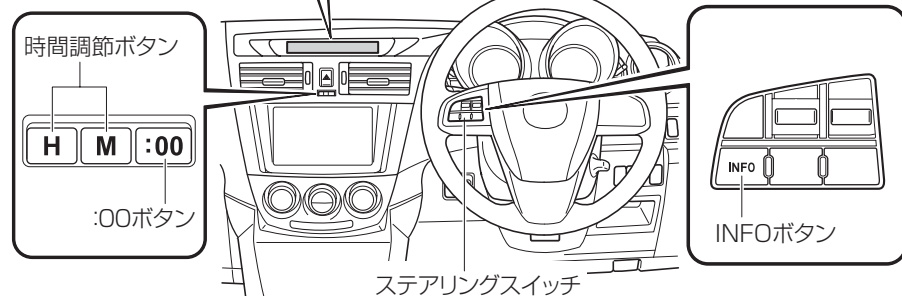
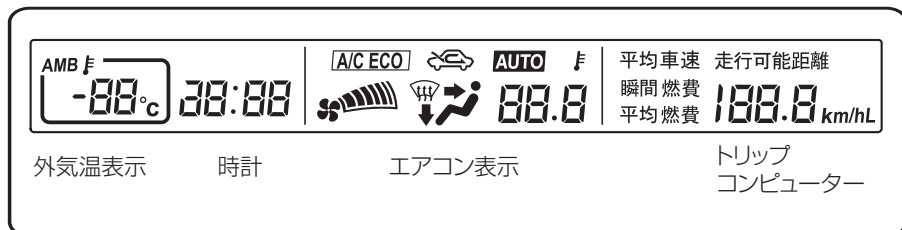
知識

メーターの減光を解除しているときは、イルミネーションコントロールスイッチをまわしても、メーターの明るさを調節できません。

減光解除機能

ランプスイッチを $\equiv$ または $\equiv$ の位置にすると、メーターが減光されます。イルミネーションコントロールスイッチを押すと減光が解除できます。

インフォメーションセンターディスプレイ



インフォメーションセンターディスプレイの機能について

インフォメーションセンターディスプレイには次の機能があります。

- 時計
- 外気温表示
- エアコン表示
- トリップコンピューター

時計

12:00

電源ポジションがACCまたはONのとき表示します。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お
手
入
れ
の
方

トラ
ブル
が
起
き
た
ら

車両
スペク

さく
いん

メーター、警告灯、表示灯の見方

時刻のあわせかた

1. 電源ポジションを ACC または ON にします。
2. 時間調節ボタン (H, M) を操作して時刻をあわせます。
時計調節ボタン (H) を押している間 “時” 表示が早送りされます。
時計調節ボタン (M) を押している間 “分” 表示が早送りされます。

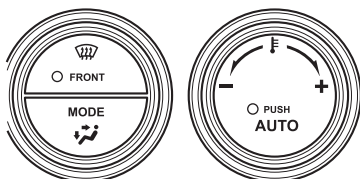
時報にあわせるとき

1. 電源ポジションを ACC または ON にします。
2. :00 ボタンを押します。
3. :00 ボタンを押すと時刻が次のように修正されます。
(例)
12:01 ~ 12:29 → 12:00
12:30 ~ 12:59 → 1:00

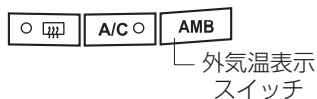
知識

:00 ボタンを押すと、“秒” は “00” からスタートします。

外気温表示



電源ポジションが ON のとき、外気温を表示します。
AMB ボタンを押すごとに、外気温の表示と非表示が切り替わります。



知識

次のようなとき、外気温表示の数値は周囲や車両の状況により、実際の外気温と異なることがあります。

- 著しく寒いとき、暑いとき
- 外気温が急激に変化したとき
- 停車時
- 低速走行時

エアコン表示

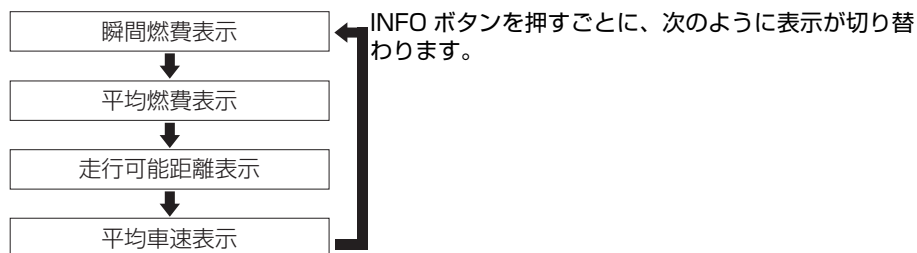
エアコンの作動状態を表示します。

エアコンの操作については、182 ページの「空調」をご覧ください。

トリップコンピューター

電源ポジションが ON のとき、次の情報を表示することができます。

- 瞬間燃費表示
- 平均燃費表示
- 走行可能距離表示
- 平均车速表示



知識

表示される数値は、周囲の状況、走行条件などにより、正しい数値を表示しないことがあります。

車両整備などでバッテリーとの接続が断たれると、過去の累積データは消去されます。

トリップコンピューターに異常があるときは、日産販売会社にご相談ください。

瞬間燃費表示

瞬間 燃費

9.5 km/L

走行しはじめてから、約 2 秒毎の瞬間燃費表示を消費燃料から算出して表示します。

知識

時速が約 5km/h になると --- km/L を表示します。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備の
使用に
かた

お手
入れの

トラ
ブルが
起き
たら

車両
スペク

さく
いん

メーター、警告灯、表示灯の見方

平均燃費表示

平均 燃費

9.5 km/L

お車を購入された時、または、過去のデータを消去した時はデータを消去した時からの累積走行距離と累積消費燃料から、約 1 分間毎に平均燃費を算出して表示します。

知識

表示されている過去のデータを消去するには、INFO ボタンを 1.5 秒以上押すか、トリップメーターの TRIP A を“0.0”にもどします。データを消去すると、燃費を再算出して表示する前に 1 分間 --- km/L を表示します。

走行可能距離表示

走行可能距離

160 km

現在の燃料残量と燃費から走行可能距離を算出して表示します。

知識

走行可能距離が十分走行できる数値であっても燃料計の指針が E に近づくか、燃料残量警告灯が点灯したら早めに燃料を補給してください。

約 5L 以上燃料を加えないと表示は変化しません。

平均車速表示

平均 車速

40 km/h

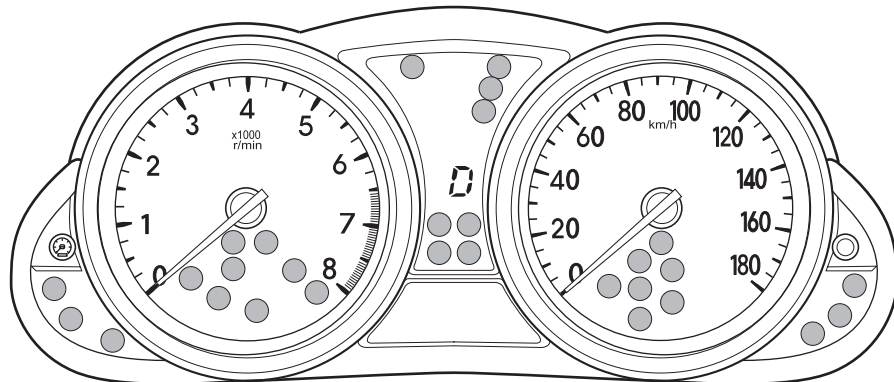
お車を購入された時、または、過去のデータを消去した時はデータを消去した時からの累積走行距離と走行時間から、約 10 秒間毎に平均車速を算出して表示します。

知識

表示されている過去のデータを消去するには、INFO ボタンを 1.5 秒以上押します。データを消去すると、車速を再算出して表示する前に 1 分間 --- km/h を表示させます。

警告灯、表示灯

メーターはグレードや仕様により異なります。



警告灯 / 表示灯	名称	点灯 / 点滅条件	処置方法
	ブレーキ警告灯	- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯 - パーキングブレーキをかけているとき点灯し、解除すると消灯 - 次のようなときは点灯し続ける - ブレーキ液が不足している - EBD（電子制御制動力配分システム）に異常がある	点灯し続けるときは、安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡する
	故障警告表示灯	- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯 - ブレーキスイッチに異常があると点灯し続ける - 充電装置に異常があると点灯し続ける（PE-VPS 型エンジン）	点灯し続けるときは、日産販売会社で点検を受ける

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
に
あた
る

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

メーター、警告灯、表示灯の見方

警告灯 / 表示灯	名称	点灯 / 点滅条件	処置方法
	ABS 警告灯	- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯 - システムに異常があるときは点灯し続ける	点灯し続けるときは、日産販売会社で点検を受ける
	充電警告灯	- 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯 - エンジン回転中、充電装置に異常があると点灯	点灯したときはただちに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡する
	油圧警告灯	- 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯 - エンジン回転中、エンジンオイルの圧力が低下すると点灯	- エンジン回転中に点灯したときはただちに安全な場所に停車し、エンジンを止め、エンジンオイルの量を点検する - エンジンオイルの量が不足していないのに点灯するときや、補充しても点灯し続けるときは日産販売会社に連絡する
	エンジン警告灯	点灯するとき - 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯 - エンジン制御システムに異常があると点灯し続ける 点滅するとき エンジン制御システムに異常があると点滅し続ける	点灯 / 点滅したときは高速走行をせず、日産販売会社で点検を受ける
	高水温警告灯 (赤)	- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯 - エンジン冷却水の温度が異常に高くなったときに点滅し、さらに高くなると点灯	点滅したとき エンジンに負担をかけないように、ゆっくり走行する 点灯したとき ただちに安全な場所に停車し、適切な処置をする → 281 ページ「オーバーヒートについて」

警告灯 / 表示灯	名称	点灯 / 点滅条件	処置方法
	アイドリングストップ 警告灯（橙） グレード/仕様別装備	点灯するとき - 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯 - アイドリングストップ OFF スイッチを押してシステムを解除すると点灯 - アイドリングストップ中に次の操作を行なうと点灯 - ボンネットを開けたとき - D/M（2速固定モードでない）レンジでドライバーが車両から降りようとしたとき（運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき） 点滅するとき システムに異常があるときは点滅し続ける	点滅し続けるときは、日産販売会社で点検を受ける
	アイドリングストップ 表示灯（緑） グレード/仕様別装備	点灯するとき - アイドリングストップ可能なとき、またはアイドリングストップ中に点灯 - エンジンが再始動すると消灯 点滅するとき ブレーキペダルを強く踏まずに停車させると点滅 ブレーキペダルの踏力が不足している可能性がある	点滅しているときは、少しブレーキペダルを踏み足す

運転
前に

運転
する
ときに

快適
装備の
使いかた

お手
入れの
しかた

トラ
ブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

メーター、警告灯、表示灯の見方

警告灯 / 表示灯	名称	点灯 / 点滅条件	処置方法
4WD	4WD 警告灯 グレード/仕様別装備	点灯するとき - 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯 4WD システムに異常があると点灯 点滅するとき - ディファレンシャルオイルの温度が異常に高いと点滅 - スタックからの脱出時など、前後輪の回転差が異常に大きい状態が続くと点滅	- 点灯したときは、日産販売会社に連絡する - 点滅したときは、エンジンをかけたまま安全な場所に停車する しばらくしても警告灯が消灯しないときは、日産販売会社に連絡する
AT	オートマチックトランスミッション警告灯	- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯 - 走行中、システムに異常があると点灯	点灯したときは日産販売会社で点検を受ける
	電動パワーステアリング警告灯	点灯するとき - 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯 - エンジン回転中、電動パワーステアリングに異常があると点灯	点灯したときは安全な場所に停車し、エンジンを停止する エンジンを再始動した後も消灯しない場合は、日産販売会社に連絡する
	エアバッグ警告灯 / プリテンショナー警告灯	電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯	次のようなときはシステムの異常が考えられるため、日産販売会社で点検を受ける - 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき - 点灯 / 点滅し続けるとき

警告灯 / 表示灯	名称	点灯 / 点滅条件	処置方法
	燃料残量警告灯	電源ポジションが ON のとき、燃料が少なくなると点灯  知識 - 燃料タンク内の燃料残量が 9L 前後になった時に点灯します。点灯したときは、すみやかに燃料を補給してください。 - 走行状況や車両姿勢によっては、タンク内の燃料が移動するため、警告灯の点灯タイミングが変わる場合があります。	燃料を補給する
	シートベルト警告灯	点灯するとき 電源ポジションが ON のとき、運転席 / 助手席シートベルトを着用していないと点灯 点滅するとき 運転席 / 助手席シートベルトを着用しないまま約 20km/h 以上になるとしばらくの間点滅	シートベルトを着用する
	半ドア警告灯	ドア、バックドアが確実に閉まっていないと点灯	ドア、バックドアを確実に閉める

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
に
あた

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

メーター、警告灯、表示灯の見方

警告灯 / 表示灯	名称	点灯 / 点滅条件	処置方法
	KEY 警告灯 (赤)	点灯するとき - 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯 - インテリジェントキー機能になんらかの故障が発生すると点灯し続ける 点滅するとき - 次のようなとき、警告灯が点滅し、電源ポジションを OFF 以外にできないことを知らせる - インテリジェントキーの電池が切れたとき → 242 ページ「インテリジェントキー」 - インテリジェントキーが作動範囲内にないとき - インテリジェントキーを車内でも感知しにくい場所に置いているとき → 19 ページ「インテリジェントキー機能を使った操作」 - インテリジェントキーに類似した他社のキーが作動範囲内にあるとき - 次のようなときは警告灯が点滅し続け、電源ポジションを OFF にせずに、インテリジェントキーを車外に持ち出したことを知らせる インテリジェントキーを車内にもどすと消灯 - 電源ポジションを OFF にせずに、運転席ドアを開け、インテリジェントキーを車外に持ち出したとき - 電源ポジションを OFF にせずに、インテリジェントキーを車外に持ち出したあと、すべてのドアを閉めたとき	

警告灯 / 表示灯	名称	点灯 / 点滅条件	処置方法
	KEY 表示灯 (緑)	点灯するとき 電源ポジションが OFF の状態でスタートノブを押し込んだとき、正規のインテリジェントキーが車内にあることを確認できると点灯し、スタートノブを ACC にまわすことができることを知らせる → 110 ページ「エンジンの始動」 点滅するとき インテリジェントキーの電池容量が残り少なくなっていると、電源ポジションを ON から ACC または OFF にしたときに、30 秒間点滅	点滅したときは、インテリジェントキーが使用できなくなる前に新しい電池と交換する → 242 ページ「インテリジェントキー」
	TCS/VDC 作動表示灯 グレード/仕様別装備	点灯するとき 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯 点滅するとき 走行中に TCS または VDC が作動すると点滅	次のようなときはシステムの異常が考えられるため、日産販売会社で点検を受ける - 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき - 走行中に点灯したとき
	VDC OFF 表示灯 グレード/仕様別装備	- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯 - VDC OFF スイッチを押して、VDC を解除すると点灯	次のようなときはシステムの異常が考えられるため、日産販売会社で点検を受ける - 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき - VDC を解除していないのに点灯したとき

運転
前に
する

運転
する
ときに

快適
装備
の
使用
に
あた
る

お
手
入
れ
の

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペク

さく
いん

メーター、警告灯、表示灯の見方

警告灯 / 表示灯	名称	点灯 / 点滅条件	処置方法
	ヘッドランプオートレベライザー警告灯 グレード/仕様別装備	- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯 - システムに異常があるときは点灯し続ける	点灯し続けるときは日産販売会社で点検を受ける
	低水温表示灯 (青)	- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯 - エンジン冷却水の温度が低いときに点灯し続ける	十分に暖機しても点灯したままのときは、日産販売会社で点検を受ける
	ECO インジケーター	環境にやさしい運転をしているときに点灯し、アクセルペダルを急激に踏み込むと消灯	
	セレクトレバー位置表示	電源ポジションが ON のとき、使用中のセレクトレバーのセット位置を表示	
	4WD 表示灯 グレード/仕様別装備	- 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯 4WD スイッチを押して 4WD が作動可能な状態になると、4WD 表示灯が点灯	
	ヘッドランプ上向き表示灯	ヘッドランプを上向き (ハイビーム) にすると点灯し、下向き (ロービーム) にすると消灯	
	方向指示 / 非常点滅表示灯	方向指示器 / 非常点滅灯スイッチを操作すると点滅	点滅が異常に速くなったときは、日産販売会社で点検を受ける

警告灯 / 表示灯	名称	点灯 / 点滅条件	処置方法
	セキュリティ表示灯 グレード/仕様別装備	- 電源ポジションを ON から OFF にするとシステムが作動し点滅 - 登録されたキーで電源ポジションを ON にするとシステムが解除され、約 3 秒間点灯したあと消灯	登録されたキーで電源ポジションを ON にしても点灯 / 点滅し続けるときは、日産販売会社で点検を受ける
CRUISE	ASCD メイン表示灯 (橙) グレード/仕様別装備	ON スイッチを押すと点灯し、OFF スイッチを押すと消灯	
	ASCD 表示灯 (緑) グレード/仕様別装備	速度が設定されると点灯し、OFF スイッチを押すと消灯	
	車幅灯表示灯	- 車幅灯、尾灯が点灯しているときに点灯 - AUTOの位置のときは車幅灯、尾灯が点灯すると点灯	
	フォグランブ表示灯 グレード/仕様別装備	フォグランブを点灯させると点灯し、フォグランブを消灯させると消灯	

運転
前に
する

運転
する
ときに

快適
装備の
使用
に
かた

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
フ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペック

さく
いん

オートマチックトランスミッション

オートマチック車の特性

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤの切り替えを自動化した車で、その分操作の負担が軽くなります。運転は楽になりますが、安易に運転することは禁物です。オートマチック車の特性を理解し、正しい操作をする習慣をつけてください。

クリープ現象

- エンジンがかかっているとき、セレクトレバーが P、N 以外にはいと、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。この現象をクリープ現象といいます。
- 停車中は車が動かないようにブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- エンジン始動直後やエアコン作動時は、エンジンの回転数が高くなりクリープ現象が強くなります。ブレーキペダルをしっかりと踏んでおいてください。
- 渋滞や狭い場所での移動は、クリープ現象を利用すると、アクセルペダルを踏まずにブレーキ操作のみで速度を調節できます。

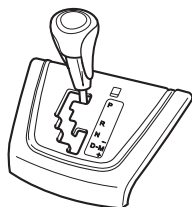
キックダウン

走行中にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、キックダウンすることができます。

- 追い越しや高速道路での合流など、加速が必要なときに行ないます。
- すべりやすい路面やカーブを走行するときは、急激なアクセル操作はしないでください。

各位置の働き

2WD 車



P (パーキング)

駐車およびエンジンを始動する位置。
Pでのみエンジンスイッチからキーを抜くことができます。

R (リバース)

車を後退させる位置。
チャイムが鳴り、セレクトレバーが R にはまっていることを運転者に知らせます。

N (ニュートラル)

動力が伝わらない位置。
エンジンを始動することはできますが、安全のため P の位置で行なってください。

D (ドライブ)

通常走行する位置。

(シフトスイッチ装備車)

一時的にダイレクトモードにすることができます。
→ 149 ページ「ダイレクトモード (シフトスイッチ装備車)」

(6速オートマチック車)

車速に応じて 1 速から 6 速までを自動変速します。

(5速オートマチック車)

車速に応じて 1 速から 5 速までを自動変速します。

M (マニュアル)

マニュアル走行する位置。
ギヤ位置を手動で切り替えることができます。
→ 144 ページ「マニュアルモード (2WD 車)」

運転
前に
する

運転
する
とき
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

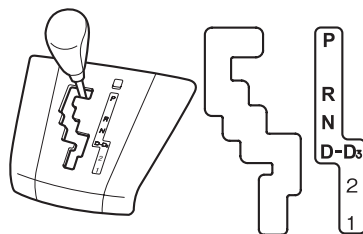
ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

トランスミッションの使いかた

4WD 車



P (パーキング)

駐車およびエンジンを始動する位置。

Pでのみエンジンスイッチからキーを抜くことができます。

R (リバース)

車を後退させる位置。

チャイムが鳴り、セレクトレバーがRにはいつていることを運転者に知らせます。

N (ニュートラル)

動力が伝わらない位置。

エンジンを始動することはできますが、安全のためPの位置で行なってください。

D (ドライブ)

通常走行する位置。

車速に応じて1速から4速までを自動変速します。

D3 (ドライブ)

下り坂などエンジンブレーキが必要なときや、カーブの多い上り坂を走行するときに使用する位置。

車速に応じて1速から3速までを自動変速します。

2 (セカンド)

下り坂などエンジンブレーキが必要なときに使用する位置。

2速に固定されます。

1 (ファースト)

急な下り坂など強力なエンジンブレーキが必要なときに使用する位置。

1速に固定されます。

シフトロック装置

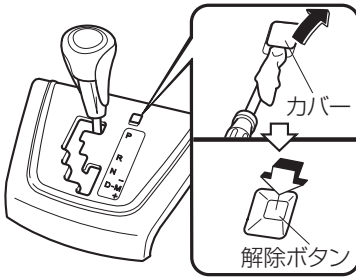
シフトロック装置は、発進時の誤操作を防ぐためのものです。



知識

電源ポジションがOFFのときは、セレクトレバーをPから動かすことはできません。

シフトロック装置の解除



万一、セレクトレバーをPから操作できないときは、カバーをはずし、ブレーキペダルを踏み、マイナスドライバーなどで解除ボタンを押したままセレクトレバーを操作します。

運転
前に
する

運転
する
ときに

快適
装備の
使いかた

お手
入れの
しかた

トラ
ブルが
起きたら

車両
スペック

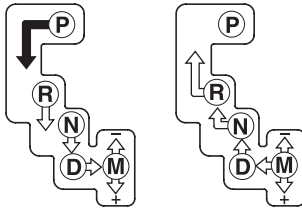
さく
いん

知識

マイナスドライバーなどを使用するときは、先端に布などを巻いてください。マイナスドライバーなどが直接カバーにあたると、傷がつくおそれがあります。

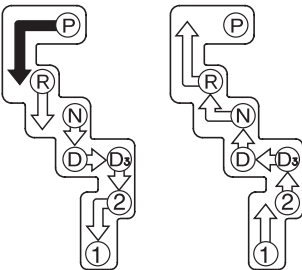
セレクトレバーの操作

2WD車



レバー操作	
➡	ブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作します。
➡	ゲートにそって、そのままセレクトレバーを操作します。

4WD車



トランスミッションの使いかた

知識

- **誤作動防止について**

 の操作は、誤作動防止のため、各ギヤ位置ごとに節度をつけ確実に行ってください。

- **先にブレーキペダルを踏んでから操作する**

セレクトレバーを P から操作するとき、セレクトレバーを助手席側に動かしたままブレーキペダルを踏むと操作できないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでから操作してください。

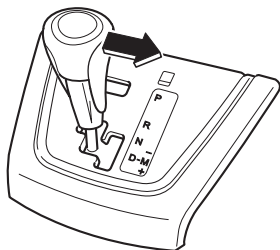
AAS モードについて グレード/仕様別装備

AAS（アクティブアダプティブシフト）モードとは、ドライバーが快適に運転するため、道路の状況やドライバーの操作に最適なシフトポイントを自動的にコントロールするモードです。

セレクトレバーが D の状態で、登り坂や下り坂、コーナーを走行したり、アクセルペダルをすばやく操作することで AAS モードになる場合があります。

走行状態、シーンや操作に応じて、最適なギヤ位置を維持するためシフトチェンジが行われない場合がありますが異常ではありません。

マニュアルモード (2WD 車)



セレクトレバーを D から M にいれるとマニュアルモードになります。

マニュアルモードでは、ギヤ位置を手動で切り替えることができます。

セレクトレバーを M から D にいれるとマニュアルモードが解除されます。

知識

- 停車時にマニュアルモードにした場合、ギヤは 1 速になります。

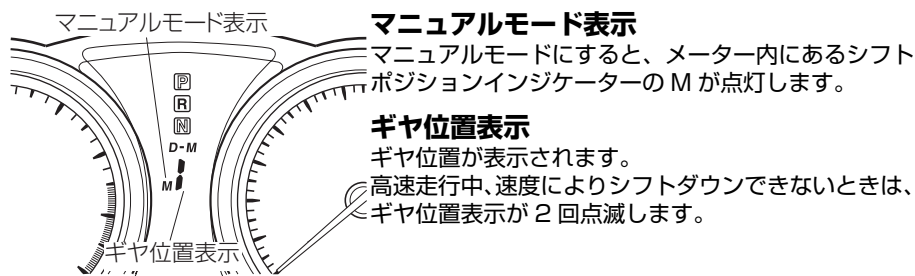
- **(6 速オートマチック車)**

D レンジ 5 速走行時にアクセルペダルを踏み込まずにマニュアルモードにした場合、ギヤは 4 速になります。また、D レンジ 6 速走行時にアクセルペダルを踏み込まずにマニュアルモードにした場合、ギヤは 5 速になります。

- **(5 速オートマチック車)**

D レンジ 5 速走行時にアクセルペダルを踏み込まずにマニュアルモードにした場合、ギヤは 4 速になります。

表示灯



知識

自動変速になる場合があります

オートマチックトランスミッションフルード (ATF) の温度が高温になると、ギヤ位置表示が消灯しマニュアルモードが解除されるため自動変速になる場合があります。これは AT を保護するための正常な機能です。しばらくして ATF 温度が下がるとギヤ位置表示が再び点灯しマニュアルモードでの走行が可能になります。

シフトチェンジ (変速) のしかた

セレクトレバーまたはシフトスイッチによりシフトチェンジすることができます。

- シフトスイッチ装備車は、左右のシフトスイッチを同時に操作しても 1 段しか変速されません。
- シフトスイッチ装備車は、シフトスイッチの UP スイッチと DOWN スイッチを同時に操作しても変速されません。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
に
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
仕様

さく
いん

トランスミッションの使いかた

シフトアップ (M1 → M2 → M3 → M4 → M5 → M6^{*1})

*1 6 速オートマチック車

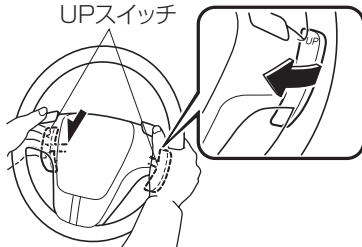
セレクトレバー



(セレクトレバーでの操作)

セレクトレバーを+側に動かすとシフトアップ（高速ギヤに変速）します。

シフトスイッチ
UPスイッチ



(シフトスイッチでの操作)

ステアリング裏側のUPスイッチを手前に引くとシフトアップ（高速ギヤに変速）します。

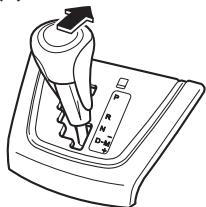
知識

- 低速時は速度によりシフトアップできないことがあります。
- マニュアルモードでは自動でシフトアップしません。タコメーターの指針がレッドゾーンにはいらないように運転してください。あやまってレッドゾーンにはいった場合、エンジン保護のため燃料の供給が停止されます。このとき軽い衝撃を感じるがありますが異常ではありません。

シフトダウン (M6^{*1} → M5 → M4 → M3 → M2 → M1)

*1 6 速オートマチック車

セレクトレバー



(セレクトレバーでの操作)

セレクトレバーを-側に動かすとシフトダウン（低速ギヤに変速）します。

シフトスイッチ



(シフトスイッチでの操作)

ステアリング表側の DOWN スイッチを押すとシフトダウン (低速ギヤに変速) します。

警告



高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路を走行しているときは、急激なエンジンブレーキの使用 (シフトダウン) は避ける。

タイヤがスリップし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- 高速走行中は、速度によりシフトダウンできないことがあります。
- 減速中は、速度により自動的にシフトダウンします。
- マニュアルモードでは、アクセルペダルをいっぱい踏み込んでもキックダウンしません。
→ 140 ページ「オートマチック車の特性」

2 速固定モード

停止または低速時* にセレクトレバーを+側に動かして 2 速にすると 2 速固定モードになり、ギヤ位置は 2 速に固定されます。雪道などすべりやすい路面での発進や走行がしやすくなります。2 速固定モードのときに、セレクトレバーを+側または-側に動かして 2 速以外にすると 2 速モードは解除されます。

- * 6 速オートマチック車 : 9km/h 以下
5 速オートマチック車 : 12km/h 以下

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペク

さく
いん

トランスミッションの使いかた

シフトチェンジ（変速）制限速度

マニュアルモードでは、次の速度条件のときセレクトレバーを操作すると変速します。

シフトアップ			シフトダウン		
ギヤ位置	5 速オートマチック車	6 速オートマチック車	ギヤ位置	5 速オートマチック車	6 速オートマチック車
M1 → M2	0km/h 以上	0km/h 以上	M6 → M5	—	—
M2 → M3	20km/h 以上	19.9km/h 以上	M5 → M4	—	159.4km/h 以下
M3 → M4	33km/h 以上	29.7km/h 以上	M4 → M3	137km/h 以下	109.8km/h 以下
M4 → M5	33km/h 以上	40.6km/h 以上	M3 → M2	90km/h 以下	78.8km/h 以下
M5 → M6	—	47.5km/h 以上	M2 → M1	44km/h 以下	44.8km/h 以下

低速走行中にシフトアップする場合、各ギヤ位置での制限速度より低いときは変速しません。

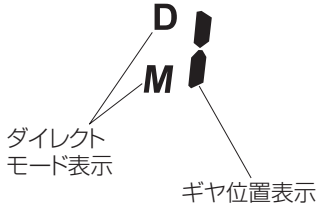
高速走行中にシフトダウンする場合、各ギヤ位置での制限速度を超えているときは変速しません。このとき、ギヤ位置表示が2回点滅し、変速できないことを運転者に知らせます。減速時、次の速度条件のときは自動的にシフトダウンします。

ギヤ位置	5 速オートマチック車	6 速オートマチック車
M6 → M5	—	44.5km/h 以下
M5 → M4	30km/h 以下	37.6km/h 以下
M4 → M3		26.7km/h 以下
M3 → M2	10km/h 以下	11.3km/h 以下
M2 → M1		6km/h 以下

知識

2 速固定モード時は、自動的に 1 速にシフトダウンしません。

ダイレクトモード（シフトスイッチ装備車）



セレクトレバーを D の位置で走行中、シフトスイッチを操作すると一時的にギヤ位置を切り替えることができます。

ダイレクトモードのときは、表示灯に D と M が点灯し、使用しているギヤ位置が表示されます。

ダイレクトモードは、次の状態になると解除されます。

- 一定時間以上走行したとき（操作時の走行状態により時間は異なります）

- 停車したとき、または、低速走行になったとき

各セレクトレバー位置での限界速度（4WD 車）

セレクトレバーの位置	速度 (km/h)
2	97
1	47

エンジンの過回転を防ぐために、左記の速度をこえないように運転してください。

エンジンの過回転を防ぐために、左記の速度をこえないように運転してください。

知識

車速が各セレクトレバー位置での限界速度より高いときは、セレクトレバーを 2 または 1 に動かしてもシフトダウンしないことがあります。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペック

さく
いん

トランスミッションの使いかた

オートマチック車を運転するときに

発進または後退するとき



警告



禁止

アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しない。

車が急発進し思わぬ事故につながるおそれがあります。

マニュアル車では発進時の速度をクラッチ操作とアクセル操作を併用して調節しますが、オートマチック車ではアクセル操作のみで行いますので、アクセル操作は慎重に行ってください。

1. ブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作します。
前進…D、D3、2、1、M
後退…R
2. セレクトレバーの位置を確認します。
3. パーキングブレーキを解除します。
4. ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。



注意



必ず守る

後退時は身体を後ろにひねった姿勢になります。ブレーキペダルを確実に踏めるよう注意してください。



知識

- セレクトレバーをRにいとるとチャイムが鳴り、セレクトレバーがRにはいつていることを運転者に知らせます。
- 少し後退したときなどはセレクトレバーをRにいたことを忘れてしまうことがあります。後退したあとは、すぐにセレクトレバーをNにもどし、発進時にはセレクトレバーの位置を確認してください。

急な坂道での発進

パーキングブレーキをかけたまま、アクセルペダルをゆっくり踏み、車が動く感触を確認しながらパーキングブレーキをもどします。

走行するとき

通常走行

セレクトレバーをDに置いて走行します。アクセルとブレーキの操作で加速/減速します。

(6速オートマチック車)

ギヤは1速から6速の間で、自動的に変速されます。

(5速オートマチック車)

ギヤは1速から5速の間で、自動的に変速されます。

(4速オートマチック車)

ギヤは1速から4速の間で、自動的に変速されます。

マニュアルモード走行 グレード/仕様別装備

停車中または走行中にセレクトレバーをDからMにいとると、マニュアルモードにセットされ、マニュアルトランスミッションのような操作ができます。

→ 144 ページ「マニュアルモード (2WD 車)」

急加速

セレクトレバーがDのとき、アクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、キックダウンして急加速できます。

急な上り坂での走行

(2WD 車)

坂の勾配に応じ、マニュアルモードで変速してください。エンジン回転の変化が少ないためめらかな走行ができます。

(4WD 車)

坂の勾配に応じ、セレクトレバーを2または1に置いてください。エンジン回転の変化が少ないためめらかな走行ができます。

下り坂での走行

(2WD 車)

エンジンブレーキが必要なときは、マニュアルモードにして、低速ギヤにシフトダウンしてください。

マニュアルモードのときは、走行速度にあわせて1段ずつシフトダウンし、エンジンブレーキを併用してください。

(4WD 車)

エンジンブレーキが必要なときは、セレクトレバーをD3に置いてください。さらに強力なエンジンブレーキが必要なときは、セレクトレバーを2または1に置いてください。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

2. 運転するときに トランスミッションの使いかた

停車するとき

1. ブレーキペダルをしっかりと踏んでおきます。
2. 必要に応じてパーキングブレーキをかけます。
3. 停車時間が長くなりそうなときは、セレクトレバーを N または P にいれます。

警告



停車中、むやみにアクセルペダルを踏まない。

セレクトレバーが P、N 以外にはいつているとき、誤ってアクセルペダルを踏むと急発進するため思わぬ事故につながるおそれがあります。



停車後、再発進するときはセレクトレバーの位置に思い違いがないよう確認する。

意に反して車が動き出すと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意



アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂でセレクトレバーを前進位置にいれ、アクセルをふかしながら停車しないでください。トランスミッションが過熱し、故障につながるおそれがあります。

駐車するとき

1. 車を完全に止めます。
2. セレクトレバーを P にいれます。
3. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけます。
4. エンジン进行を止めます。

警告



駐車するときは、セレクトレバーを P にいれ、パーキングブレーキをかける。

パーキングブレーキをかけたただけや、セレクトレバーを P にいれたただけで駐車していると、車が勝手に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。

警告



禁止

エンジンをかけたまま駐車しない。

万一セレクトレバーがP以外にはいついた場合、クリープ現象で車が勝手に動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意



必ず守る

セレクトレバーをPにいれるときは、車を完全に止めてから行なってください。車が完全に止まる前にセレクトレバーをPにいれると、トランスミッションに無理な力がかかり故障につながるおそれがあります。

そのほかに気をつけること

警告



禁止

坂道などで、セレクトレバーを前進位置に入れたまま後退したり、後退位置に入れたまま前進しない。

エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペック

さく
いん

2. 運転するときに ブレーキ

ブレーキの操作

パーキングブレーキ



警告

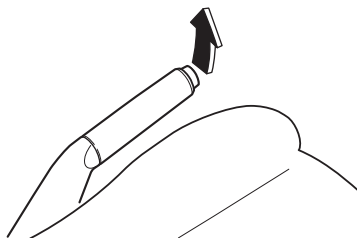


禁止

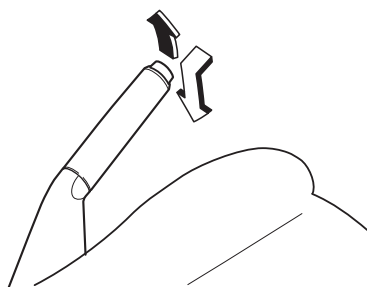
パーキングブレーキをかけたまま走行しない。

ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱するためブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

かけるとき



解除するとき



レバーを少し引き上げ、先端のボタンを押してもどします。

4WD について

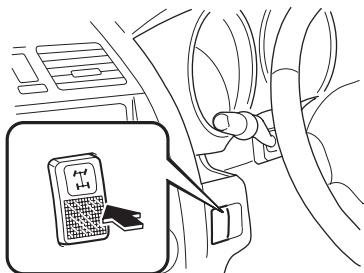
4WD は、積雪路、砂地、ぬかるみ、急な坂などすべりやすい路面ですぐれた走行性を発揮します。

走行するときは

オフロード走行やラリー走行を目的に作られた万能車ではありません。凸凹や岩を乗り越えたり、川を渡ったりしないでください。

4WD 車であっても、アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は一般の車と同じく慎重に行ない、常に安全運転を心がけてください。

4WD スイッチ



スイッチを押すと 4WD が作動可能な状態になります。メーター内の 4WD 表示灯が点灯します。

スイッチをもう一度押すと、4WD が作動しない状態になります。メーター内の 4WD 表示灯が消灯します。

4WD 表示灯



電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。

4WD スイッチを押して 4WD が作動可能な状態になると、4WD 表示灯が点灯します。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

2. 運転するときに
スイッチの使いかた

ヘッドランプスイッチ

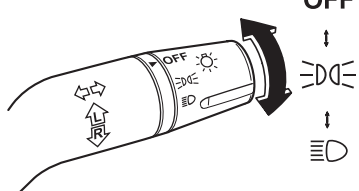
ヘッドランプの点灯 / 消灯

電源ポジションに関係なく使用できます。ランプスイッチをまわすと、各ランプが点灯 / 消灯します。

知識

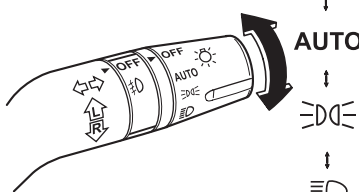
エンジンを停止しているときに、ランプを点灯させたままにしないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

標準タイプ



スイッチ位置	ランプ名称	
	ヘッドランプ	車幅灯、尾灯、番号灯
OFF	消灯	消灯
AUTO	自動で点灯 / 消灯	
⦿⦿	消灯	点灯
⦿	点灯	点灯

オートライト機能付きタイプ



オートライト機能 (オートライト機能付きタイプ)

電源ポジションが ON のとき使用できます。
ランプスイッチを AUTO の位置にすると、周囲の明るさに応じてランプが自動で点灯 / 消灯します。

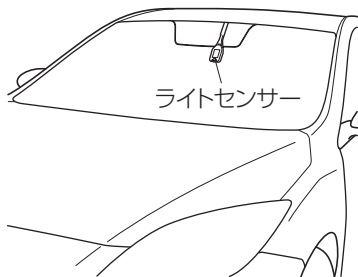
周囲の明るさ	明るい	薄暗い	暗い
ヘッドランプ	消灯	消灯	点灯
車幅灯、尾灯、番号灯	消灯	点灯	点灯

⚠ 注意



禁止

フロントガラスにステッカーやラベルなどを貼り付けてライトセンサーを覆わないでください。センサーが周囲の明るさを正確に感知できなくなります。

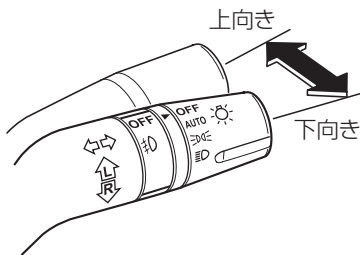


📖 知識

長いトンネルやトンネル内での渋滞、屋内駐車場など、周囲が暗い状態が数分間続くとライトセンサーが夜間と判断し、周囲が明るくなってもランプがすぐには消灯しない場合があります。

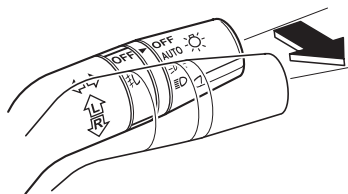
この場合はランプスイッチを OFF の位置にすれば消灯します。

ヘッドランプの切り替え



ヘッドランプが点灯しているとき、レバーを前後に操作すると、ヘッドランプの向きが切り替わります。上向き（ハイビーム）のときは、メーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

パッシング合図



ランプスイッチの位置に関係なく、レバーを引いている間ヘッドランプが上向き（ハイビーム）で点灯します。同時にメーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

運転前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手持ちの

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

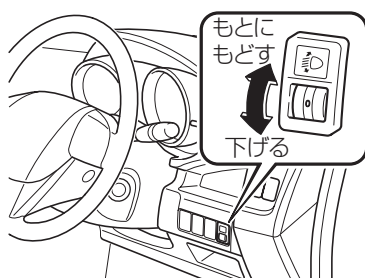
2. 運転するときに スイッチの使いかた

ヘッドランプレベライザー

オートタイプ

ヘッドランプを点灯したとき乗員や荷物の状況に応じてヘッドランプの照らす方向を上方向へ自動で調節し、一定に保ちます。

マニュアルタイプ



ヘッドランプが点灯しているとき、ヘッドランプの照らす方向を下向きに調節することができます。乗員や荷物が多いときなど、ヘッドランプが通常よりも上向きを照らしているときは、スイッチを下方向にまわしてヘッドランプの照らす方向を下向きにしてください。スイッチの数字が大きいほど下向きになります。

スイッチ位置の目安

積載状況		スイッチ位置
乗員	荷室	
運転席のみ乗車時	非積載時	0
	満載時	3
運転席と助手席乗車時	非積載時	0
運転席と助手席およびサードシート乗車時	非積載時	1
全席乗車時	非積載時	1
	満載時	2

知識

車検などで光軸調整をするときは、スイッチの位置を **0** にしてから行なってください。

キセノンヘッドランプについて グレード/仕様別装備

キセノンヘッドランプは、太陽光に近い白い光で広範囲を照らします。
ヘッドランプのロービームに装備されています。

⚠ 警告



キセノンヘッドランプの交換・修理をするときは、必ず日産販売会社へ相談する。

ロービーム

にはキセノンヘッドランプが装備されています。キセノンヘッドランプは高電圧を使用しているため、取り扱いを誤ると感電するおそれがあります。

運転前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

方向指示器

方向指示器の操作



電源ポジションが ON のとき使用できます。

車線変更する場合

レバーを車線変更の位置に操作すると、方向指示灯が点滅し、手を離すと消灯します。

左折、または右折する場合

レバーを左折または右折の位置に操作すると、方向指示灯が点滅し、ハンドルをもどすと、自動でもとの位置にもどります。もどらないときは、手でもどしてください。

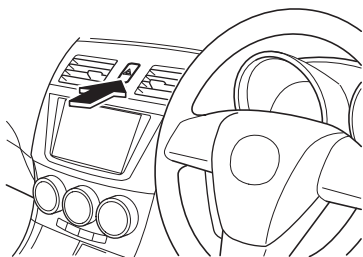


知識

点滅が異常に速くなった場合は、電球切れが考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

2. 運転するときに スイッチの使いかた

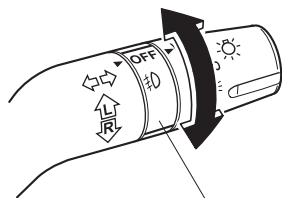
非常点滅灯スイッチ



故障などでやむをえず路上駐車するときや、非常時に使用します。
スイッチを押すとすべての方向指示燈および、メーター内にある非常点滅表示灯も点滅します。
もう一度押すと消灯します。

フォグランプスイッチ グレード/仕様別装備

霧などで視界が悪いときに使用します。



フォグランプスイッチ

ランプスイッチが☺または☹の位置のとき使用で OFF します。

↓
フォグランプスイッチを☹の位置にすると、フォグランプが点灯します。フォグランプが点灯しているときは、メーター内の表示灯が点灯します。
フォグランプスイッチを OFF の位置にする、またはランプスイッチを OFF の位置にすると消灯します。

ワイパー / ウォッシャースイッチ

電源ポジションが ON のとき作動します。

⚠ 警告



必ず守る

寒冷時にウォッシャー液を噴射するときは、ガラスをあたためてから行なう。

ウォッシャー液がガラス面で凍結し、視界不良などで思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意



必ず守る

凍結時や長時間ワイパーを使用しなかったときは、ワイパーゴムがガラスに貼り付いていることがあります。ガラスに貼り付いたまま作動させると、ワイパーゴムの損傷、ワイパーモーターの故障につながるおそれがあります。

⚠ 注意



ガラスがかわいているままでワイパーを作動させると、ガラスに傷がついたりワイパーゴムを損傷するおそれがあります。ガラスがかわいているときは、ウォッシャー液を噴射してください。



ウォッシャー液が十分にでないときは、ウォッシャースイッチを使用しないでください。ウォッシャー液が出ないままで、ウォッシャースイッチを操作し続けると、ポンプの故障につながるおそれがあります。

📖 知識

- ウォッシャー液を補給しても液が出ないときは、ノズルに異物がつまっていることがあります。針などでつまみを取ってください。
- 降雪時にワイパーを作動させていると、ガラスに雪が積もってワイパーが停止することがあります。積雪などでワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してワイパースイッチを OFF の位置にした後、積もった雪を取り除いてください。

フロントワイパー / ウォッシャー

ワイパーの操作

標準タイプ

MIST



OFF



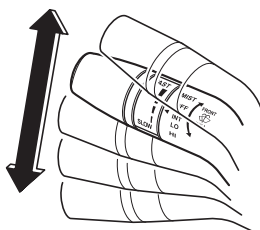
INT



LO



HI



雨滴感知機能付きタイプ

MIST



OFF



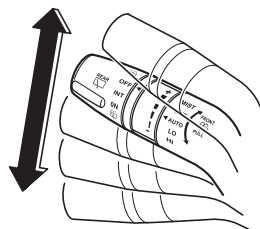
AUTO



LO



HI



レバー位置	作動状態
MIST	レバーを上押ししている間作動
OFF	停止
INT	間けつ作動
AUTO	雨滴感知機能
LO	低速作動
HI	高速作動

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備の
使用に
かた

お手
入れの

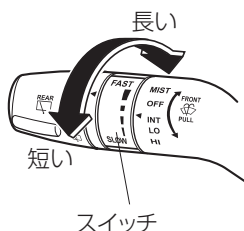
トラ
ブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

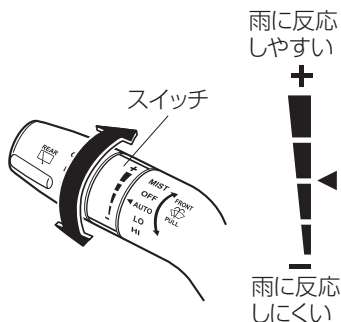
2. 運転するときに スイッチの使いかた

間けつ作動時間の調整（標準タイプ）



レバーをINTの位置にしているとき、スイッチをまわすと、間けつ作動時間を調整できます。

雨滴感知機能（雨滴感知機能付きタイプ）



レバーをAUTOの位置にしているとき、レインセンサーが雨を検知すると、雨量に応じて、ワイパーが自動で作動します。

雨量	作動状態
少ない	間けつ作動
普通	低速作動
多い	高速作動

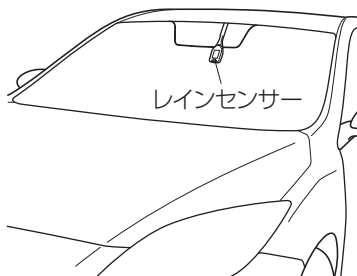
スイッチをまわすと、雨に反応する感度を調節できます。

⚠ 注意



禁止

フロントガラスにステッカーやラベルなどを貼り付けてレインセンサーを覆わないでください。センサーが雨量を正確に感知できなくなります。



⚠ 注意



禁止

電源ポジションがONで、ワイパーレバーがAUTOの位置のとき、つぎのような場合はワイパーが自動で作動することがあります。手や指を挟まないよう注意してください。万一手や指を挟むと、けがやワイパーの故障につながるおそれがあります。

- フロントガラスのレインセンサー上部に触れたとき。
- フロントガラスのレインセンサー上部を布などで拭いたとき。
- フロントガラスに衝撃をあたえたとき。
- レインセンサーに車内から衝撃をあたえたとき。



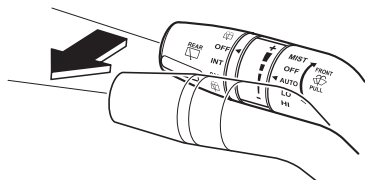
必ず守る

洗車やメンテナンスを行なうときは、ワイパーレバーをOFFの位置にしてください。

📖 知識

- レインセンサーの温度が -10°C 以下、または 85°C 以上のときは雨滴感知ワイパーが作動しないことがあります。
- フロントガラスに純正品以外の撥水コーティングを使用すると、レインセンサーが雨量を正確に検知できず、雨滴感知ワイパーが正常に作動しないことがあります。純正品以外の撥水コーティングは使用しないでください。
- フロントガラスのレインセンサー上部に泥や異物（氷や塩水などを含むもの）が付着しているときや、フロントガラスが凍っているとき、ワイパーが自動で作動することがあります。ワイパーが数回作動してもセンサー上部の泥や異物、氷などを取り除けないときは、雨滴感知ワイパーは作動を停止します。ワイパーレバーをLOまたはHIにしてワイパーを作動させるか、フロントガラスの泥や異物、氷などを取り除いてから雨滴感知ワイパーを作動させてください。
- レインセンサーは光学センサーを使用しているため、強い光源、電磁波、赤外線等の影響により、ワイパーレバーがAUTOの位置のとき、ワイパーが自動で作動することがあります。雨天時以外はワイパーレバーをOFFの位置にして走行することをおすすめします。

ウォッシャーの操作



レバーを手前に引いている間、ウォッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
に
あた
る

お
手
入
れ
の
方
法

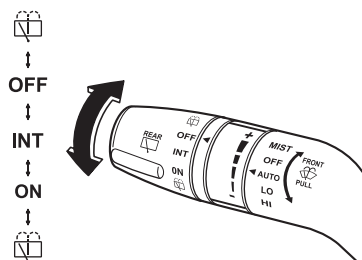
ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
仕様

さ
く
い
ん

2. 運転するときに スイッチの使いかた

リヤワイパー / ウォッシャー

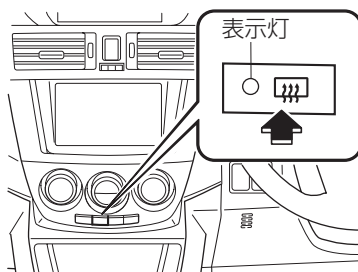


スイッチ位置	作動状態
	リヤウォッシャーおよびリヤワイパー作動 ^{*1}
ON	連続作動
INT	間けつ作動
OFF	停止
	リヤウォッシャーおよびリヤワイパー作動

^{*1} ワイパーの作動中にウォッシャー液を噴射させるときは、スイッチを ON の位置から上側にまわします。

リヤウインドーデフォグガー（曇り取り）スイッチ

リヤウインドーを熱線であたため、曇りを取ります。
電源ポジションが ON のとき使用できます。
スイッチを押すと約 15 分間作動します。
作動中はスイッチ内の表示灯が点灯します。
作動を停止したいときは、もう一度スイッチを押します。



⚠ 注意



リヤウインドーの内側には熱線が取り付けられています。清掃するときは熱線を傷つけないようにしてください。

→ 248 ページ「ガラス、ミラーの手入れ」

知識

エンジン回転中に使用してください。また、連続して長時間使用しないでください。
バッテリーがあがるおそれがあります。

ミラーの曇り取り (4WD 車)

電源ポジションが ON のとき、リヤウインドーデフォッガースイッチを押すと、ドアミラーの曇りが取れます。

→ 164 ページ「リヤウインドーデフォッガー（曇り取り）スイッチ」

ホーン

ハンドルの  マーク周辺部を押すとホーンが鳴ります。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペック

さく
いん

2. 運転するときに ABS について

ABS とは

ABS（アンチロックブレーキシステム）は、すべりやすい路面での制動時に起こる車輪のロックを防いで車の方向安定性を保ち、操縦性を確保する装置です。

警告



必ず守る

ABS を過信せず安全運転に心がける。

ABS が作動した状態でも車の方向安定性や操縦性には限界があります。また、次のようなときには、速度をひかえめにし、車間距離を十分にとって運転してください。ABS が装備されていない車に比べて制動距離が長くなることがあるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ジャリ道、新雪道を走行しているとき。
- タイヤチェーンを装着しているとき。
- 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき。
- 凸凹道や石だたみなどの悪路を走行しているとき。

注意



必ず守る

前後輪とも必ず指定されたサイズや種類のタイヤを装着してください。指定されたサイズや種類以外のタイヤを装着すると、ABS が正常に作動しないことがあります。

ABS 装備車の取り扱い

急ブレーキを踏まなくてはならないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけてください。万一の危険な状況では、次のようにしてください。

1. 危険を感じ急制動が必要なときは、ためらわずブレーキペダルをしっかりと踏み込んでください。
2. ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルから小刻みな振動を感じる場合があります。これは ABS が正常に作動しているときの現象です。
3. 障害物を回避するときは、ブレーキペダルを踏みながらハンドルを操作してください。

知識

- ABS は低速（約 10km/h 以下）では作動しませんが通常のブレーキ性能は確保されています。
- エンジン始動時や発進直後にモーター音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

2. 運転するときに ヒルローンチアシスト (HLA) について

ヒルローンチアシスト (HLA) とは (アイドリングストップシステム装備車)

ヒルローンチアシスト (HLA) とは、坂道発進を補助する機能です。坂道停車後の発進時、ブレーキペダルからアクセルペダルに踏みかえる際の車両の後退を防ぎます。急な坂道でブレーキペダルを放したときに自動でブレーキ力を保持します。セレクトレバーが前進の位置のときは上り坂で作動し、R のときは下り坂で作動します。

⚠ 警告



ヒルローンチアシスト (HLA) を過信しない。

ヒルローンチアシスト (HLA) はあくまでも発進するときの補助装置です。システムが作動する時間は限られています (約 2 秒間) ので、システムを過信して発進すると車両が動き出して思わぬ事故につながる恐れがあるため危険です。

📖 知識

- 低勾配の坂道ではヒルローンチアシスト (HLA) が作動しません。また、積載状態によって作動する勾配が若干変化します。
- パーキングブレーキを引いているときはヒルローンチアシスト (HLA) は作動しません。
- ヒルローンチアシスト (HLA) 作動中にブレーキペダルが硬くなったりペダルが振動することがありますが、異常ではありません。
- TCS/VDC 作動表示灯点灯中、ヒルローンチアシスト (HLA) は作動しません。
- VDC OFF スイッチを押して TCS/VDC を解除してもヒルローンチアシスト (HLA) は解除されません。
- アイドリングストップ警告灯 (橙) が点滅しているときはヒルローンチアシストが作動しないことがあります。
- アイドリングストップ中はヒルローンチアシスト (HLA) は作動しませんが、アイドリングストップ発進補助機能が作動して車両が動き出すことを防ぎます。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

トラクションコントロールシステム (TCS) について

TCS とは グレード/仕様別装備

TCS（トラクションコントロールシステム）は、水にぬれた路面や雪道などのすべりやすい路面での発進や旋回加速時に起こる駆動輪の空転を防ぎ、適切な駆動力と操縦性を確保する装置です。

警告



TCS を過信せず安全運転に心がける。

TCS が作動した状態でも駆動力の確保や車の操縦性には限界があり、無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- エンジン回転が高いときに TCS が作動すると、エンジン回転の変動や車体の振動を感じることがありますが、異常ではありません。
- TCS を解除するときは、VDC OFF スイッチを押して解除してください。
→ 170 ページ「VDC OFF スイッチ」

TCS/VDC 作動表示灯



点灯するとき

- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。
 - 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
 - 走行中に点灯したとき。

点滅するとき

走行中に TCS または VDC が作動すると点滅します。

ビークルダイナミクスコントロール (VDC) について

VDC とは (PE-VPS 型エンジン)

VDC (ビークルダイナミクスコントロール) は、すべりやすい路面での走行時や、緊急回避など急激なハンドル操作による車両の横すべりをおさえるため、ABS や TCS などにより、ブレーキやエンジンの出力を自動的に制御して、車両の安定性を確保する装置です。

VDC は約 20km/h 以上で作動可能な状態になります。

「ABS について」、「TCS について」もあわせてお読みください。

→ 166 ページ「ABS とは」

→ 168 ページ「TCS とは グレード/仕様別装備」

警告



VDC を過信せず安全運転に心がける。

VDC が作動した状態でも車両の安定性や操縦性には限界があるため、無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。

特に VDC 作動表示灯が点滅しているときは、車両が横すべりしやすい状態になっています。慎重に運転してください。

注意



VDC を正常に作動させるために次の点をお守りください。

- 前後輪とも必ず指定されたサイズで、メーカー、銘柄、パターン（溝の模様）が同一のタイヤを装着してください。
- 摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。
- 指定以外のサイズや、異なる種類、摩耗差の著しいタイヤを使用しないでください。

知識

- タイヤチェーンや応急用スペアタイヤ装着時のように径の異なるタイヤを使用したときは、VDC が正常に作動しないことがあります。
- 電源ポジションを ON にした後、インストルメントパネルの奥からカチッと音が聞こえることがあります。これはシステムの作動をチェックしている音で、異常ではありません。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

ビークルダイナミクスコントロール (VDC) について

TCS/VDC 作動表示灯



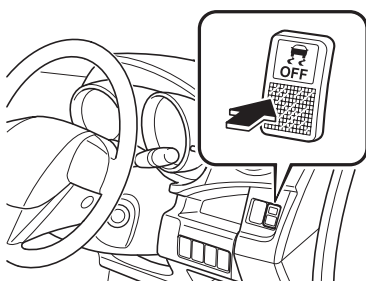
点灯するとき

- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。
 - 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
 - 走行中に点灯したとき。

点滅するとき

走行中に TCS または VDC が作動すると点滅します。

VDC OFF スイッチ



スイッチを押すと TCS/VDC が解除され、メーター内の VDC OFF 表示灯が点灯します。もう一度押すと TCS/VDC が作動可能な状態になり、VDC OFF 表示灯が消灯します。

知識

- めかるみや新雪などからの脱出時に TCS が作動し、アクセルペダルを踏み込んでもエンジンの出力が上がらず、脱出困難なときに TCS/VDC を解除します。
- TCS/VDC を解除した状態でエンジンを停止した場合、次にエンジンを始動すると TCS/VDC は作動可能な状態にもどります。
- TCS/VDC を解除したときは、TCS/VDC が装備されていない車と同じ走行性能になります。

VDC OFF 表示灯



点灯するとき

- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- VDC OFF スイッチを押して、TCS/VDC を解除すると点灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。
 - 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
 - TCS/VDC を解除していないのに点灯したとき。

運転
前に
する

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

ASCD（オートスピードコントロール装置）について

ASCD とは グレード/仕様別装備

アクセルペダルを踏まなくても車速を約 30 ～ 100km/h の間に設定できる装置です。高速道路、加速 / 減速の繰り返しが少ない自動車道などで使用してください。

警告



禁止

次のような場所では使用しない。

思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 急なカーブ、交通量が多く車間距離が十分にとれない道路（道路状況に合わせた走行はできません）
- 急な下り坂（エンジンブレーキが十分に効かず、セット速度をこえることがあります）
- 凍結路や積雪路などのすべりやすい路面（タイヤが空転して、車のコントロールを失うおそれがあります）

表示灯

CRUISE

ASCD メイン表示灯（橙）

点灯するとき

ON スイッチを押すと点灯します。

OFF スイッチを押すと消灯します。

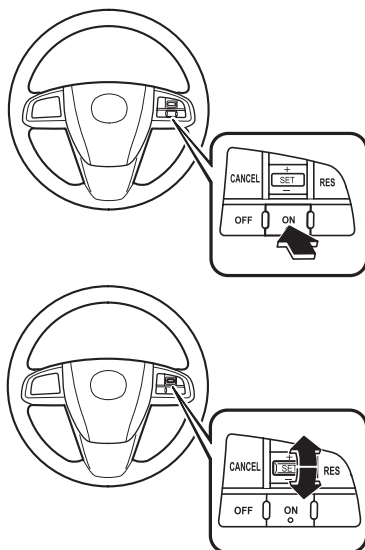
ASCD 表示灯（緑）

点灯するとき

速度が設定されると点灯します。

OFF スイッチを押すと消灯します。

設定するとき



1. ON スイッチを押すと速度の設定ができる状態になります。同時にメーター内の ASCD メイン表示灯が点灯します。
2. アクセルペダルの操作で希望の速度に調節します。
3. SET スイッチを引き上げるか引き下げると定速走行をはじめます。同時にメーター内の ASCD 表示灯が点灯します。ASCD 表示灯が点灯したら、すぐにスイッチから手を離します。

警告



必ず守る

ASCD を使用しないときは、必ず OFF にする。

常に使用できる状態にしておくとし、誤って ASCD を作動させ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

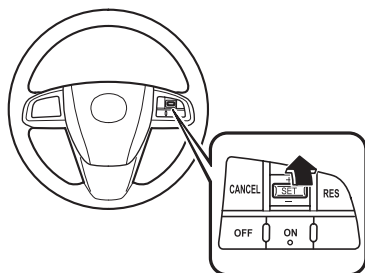
- 急な上り坂または下り坂など、走行条件によっては設定速度を一定に保てない場合があります。
- スイッチを引き上げたままにすると加速をはじめます。スイッチを引き下げたままにすると減速をはじめます。

設定速度を上げるとき

次の操作で設定速度を上げることができます。

ASCD（オートスピードコントロール装置）について

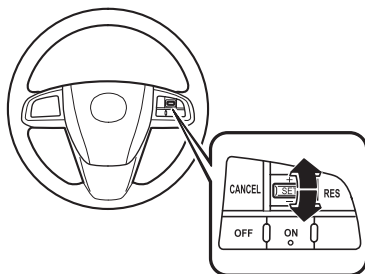
スイッチで加速するとき



SET スイッチを引き上げたまま、希望の速度になったところで手を離します。

スイッチを引き上げてすぐに手を離すと、設定速度の調節（約 1km/h）ができます。たとえば、スイッチを 4 回引き上げると、設定速度が約 4km/h 上がります。

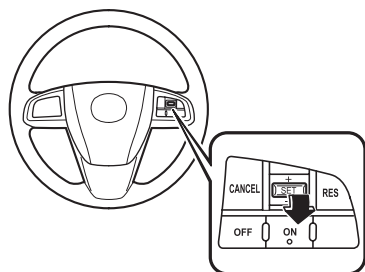
アクセルペダルで加速するとき



アクセルペダルを踏み、希望の速度になったところで SET スイッチを引き上げるか引き下げて手を離します。

スイッチを操作しなければ、アクセルペダルから足を離すと、もとの設定速度にもどります。

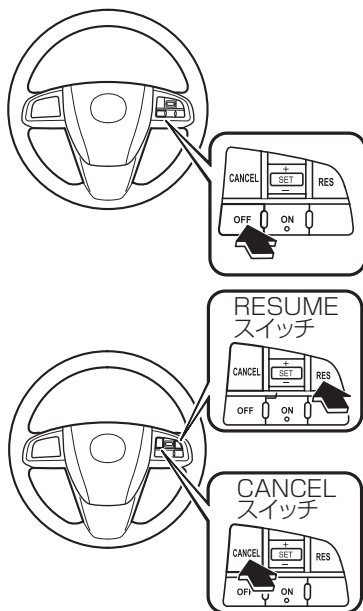
設定速度を下げるとき



SET スイッチを引き下げたまま、希望の速度になったところで手を離します。

スイッチを引き下げてすぐに手を離すと、設定速度の調節（約 1km/h）ができます。たとえば、スイッチを 4 回引き下げると、設定速度が約 4km/h 下がります。

解除するとき



OFF スイッチを押すと、ASCD が解除され、ASCD 表示灯と ASCD メイン表示灯が消灯します。

次のようなときは、ASCD が解除され ASCD 表示灯が消灯しますが、ASCD メイン表示灯は点灯したままです。車速が 30km/h 以上であれば、RESUME スイッチを押すと、もとの設定速度にもどります。

- CANCEL スイッチを押したとき。
- ブレーキペダルを踏んだとき。
- 車速が設定速度から 15km/h 以上下がったとき。

知識

車速が 30km/h 未満になると、ASCD が解除されます。この場合、車速を 30km/h 以上にして RESUME スイッチを押しても、もとの設定速度にはもどりません。ASCD を設定しなおしてください。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

悪天候での運転

雨の日の運転

ガラスが曇るときは

湿度の高い日はガラスが曇りやすくなります。このようなとき、エアコンを使用して曇りを取り除くことができます。エアコンを作動させると吹き出し風が除湿されるため、効果的に曇りを取り除くことができます。

冠水した道路は

冠水した道路を走行しないでください。冠水した道路を走行すると、エンストするだけでなく、電気部品や電子部品のショート、水を吸い込んだエンジンの破損など、車両に悪影響をおよぼします。万一、水中に浸ってしまったときは、必ず日産販売会社へご相談ください。

積雪、寒冷時の運転

すべりやすい路面を走行するときは

早めに冬用タイヤまたはタイヤチェーンを装着してください。

→ 254 ページ「タイヤチェーンの取り付け」

- 急発進、急ハンドルや急ブレーキを避け、ひかえめな速度で運転してください。
- 日陰や橋の上、水たまりなど、凍結しやすい場所にさしかかる前では速度を落とし、注意して走行してください。

ハンドルの切れ具合に注意

走行中、フェンダーの裏側に雪が付着して氷になり、ハンドルの切れが悪くなる場合があります。

ときどき車を止めて点検し、氷塊が大きくなる前に取り除いてください。

ブレーキの効き具合を確認

ブレーキ装置に雪や氷が付着すると、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。

効きが悪いときは、低速で走りながらアクセルペダルを放してブレーキペダルを軽く数回踏んで、効きが回復するまでブレーキを乾かしてください。

駐車するときは



- 寒冷時はパーキングブレーキをかけると凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- パーキングブレーキは使わず、セレクトレバーをPに置いてタイヤに輪止めをしてください。
- ボンネット側を風下に向けて駐車してください。風上に向けるとエンジンが冷えすぎて始動しにくくなることがあります。
- ワイパーアームは立てて駐車してください。寒冷時はワイパーゴムがガラスに凍りつくことがあります。

⚠ 注意



運転席 / 助手席側ワイパーアームを起こすときは、運転席側のワイパーアームから起こしてください。また、降ろすときは助手席側のワイパーアームから降ろしてください。ワイパーアームとブレードが接触し損傷するおそれがあります。

寒冷地用ワイパーブレードについて

降雪期にフロントガラスに雪が付着するのを防ぐために、寒冷地用ワイパーブレードをお使いください。寒冷地用ワイパーブレードは通常のワイパーブレードの金属部分をゴムでおおってあります。必要に応じて日産販売会社でお求めください。

📖 知識

高速走行時は、通常のワイパーブレードよりふき取りにくくなりますので、ワイパー使用時は速度を落として走行してください。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
方法

お手
入れ
の
方法

トラ
ブル
が
起き
たら

車両
仕様

さく
いん

2. 運転するときに 環境保護のために

経済的な運転

地球環境にやさしい、経済的な運転を心がけてください。

アイドリングストップ

コンビニでの買い物、人待ちや荷降ろしなど、ちょっとした駐車の際にもエンジンを止めましょう。10 分間のアイドリングで、130cc 程度の燃料を浪費します。

不要な荷物は積まない

荷物が多いほど、燃料を多く消費します。不要な荷物は降ろして走行しましょう。100 kg の不要な荷物を載せて走ると、3% 程度燃費が悪化します。

空ぶかしをしない

空ぶかしをやめると、燃料を節約できます。
空ぶかしは環境にも車にもよくありません。

エアコンの使用は控えめに

エアコンの使用を控えると、燃料の節約になります。外気温 25° C の時に、エアコンを使用すると、12% 程度燃費が悪化します。

タイヤの空気圧を適正に

こまめに点検し、適正な空気圧に調整しましょう。
タイヤの空気圧が適正値より 50 kPa (0.5 kg/cm²) 不足した場合、市街地で 2% 程度、郊外で 4% 程度、それぞれ燃費が悪化します。

ゆとりある走行を

急発進、急加速、急ブレーキは避けましょう。
速度にムラのある走り方をすると、市街地で 2% 程度、郊外で 6% 程度燃費が悪化します。

経済的速度

一般道路で 40km/h、高速道路で 80km/h 程度の等速走行が経済的です。

アクセルペダルの上手な踏みかた

加速終了時（オートマチック車）

アクセルペダルを少し大きめにもどしてみましょう。適切に無駄なく自動変速されるため、燃費がよくなります。

下り坂に入るとき、減速を始めるとき

早めにアクセルペダルをもどし、エンジンブレーキを使いましょう。アクセルペダルをもどすと燃料噴射が停止されるので、燃費がよくなります。

一定速度のとき

アクセルペダルの踏み加減を一定に保ちましょう。

アクセルペダルの踏み込み、踏みもどしは少ないほど燃料噴射が少なくなるため、燃費がよくなります。

JC08 モード燃費について

「JC08 モード」とは

知識

車両カタログに記載されている「JC08 モード」燃費は、お客様の使用環境変化や燃費測定技術の進歩を踏まえて、図 1 のような実際の走行に近い細かな速度変化での運転条件で、エンジン冷間時、暖機後の 2 パターンを図 2 のようなシャシーダイナモーター上で走行した値です。

ただし、気象条件や渋滞などのお客様の使用環境、急発進、エアコンや電気負荷など実際の走行とは異なる場合があります。

図1.JC08モード走行

走行距離 8.172Km
平均速度 24.4Km/h
最高速度 81.6Km/h

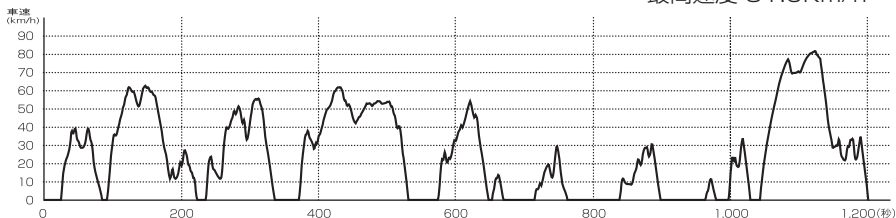
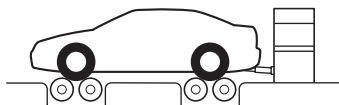


図2.シャシーダイナモーター



運転
前に

運転
する
とき

快適
装備の
使用

お手
入れの

トラ
ブルが
起き

車両
仕様

さく
いん

MEMO